

平成27年度 事業実績報告

平成27年度より組織の再編を行い、総務課・事業課・地域包括支援センター（3課6係）において情報の共有等連携の強化に努め各種の事業を実施しました。

また、地区だけでは取り組めない課題等の対応については、行政並びに各種機関・団体等のネットワークを通じ活動を展開しました。

I 住民主体の地域福祉の推進

I-1 小地域福祉活動の推進

①小地域福祉推進事業（総務課：地域福祉係）

(1) 会員・会費制度の促進

地域住民による「支え合い・助け合い」活動を推進するため、地域福祉活動への住民参加を促進しました。

区分	会 員	平成26年度	平成27年度
一般会員	各世帯	5,709世帯	5,656世帯
賛助会員	役職員、社会福祉事業従事者及び個人	11名	14名
特別会員	会社、事業所及び関係機関・団体等	0団体	12団体

賛助・特別会員:加入のお願いに施設等を訪問

2) 地域福祉活動助成

地域の実情や課題に応じた小地域（行政区、公民館、集会所）単位の地域福祉活動を推進しました。

また、住民参加型福祉の実現に向け、安心して暮らしやすい地域づくりを目指す先進的な地域を支援しました。

助成内容	平成26年度	平成27年度
①小地域福祉活動助成金	2,888,000円	2,854,500円
②地域福祉モデル事業助成金 住民参加型福祉の実現に向け他の地区に先駆けて安心して暮らしやすい地域づくりを行う。 豊岡地区：黄色旗運動	200,000円	149,520円
③防犯グッズ助成金 高齢者や子どもの見守り活動の充実を図る。 花岡東地区	0円	30,000円
④ふれあいいいききサロン活動助成金 地域において高齢者や子ども、障がい者などすべての住民を対象に誰でも気軽に集える居場所作り 市居原地区	72,000円	93,000円

I-2 地域福祉コーディネートの充実

①水俣・芦北地域見守り活動推進事業（総務課：地域福祉係）

(1) 小地域ネットワークの構築

地域の福祉課題や地域住民のニーズの把握を行い、制度の間や公的サービスでは解決できない課題が生じた際は、関係機関と協働し社会資源の活用やインフォーマルサービス等の支援体制作りを行いました。

また、平時の見守り活動と一体的に取り組む地域福祉活動として捉えた、災害時に強い地域づくりを目指し、災害図上訓練を実施しました。

活動内容	実績	平成26年度	平成27年度
①地域福祉座談会 住民相互の見守り活動等、地域福祉活動の推進を図る。(海路・高田辺、高岡南、国見、白岩、小田浦5～7地区)	実施地区	8地区	7地区
	実施回数	7回	5回
②災害図上訓練「DIG」 地図上に、災害時の危険個所や要援護者等の情報を書き込みながら、地域の問題や課題を把握するワークショップ(芦北、高岡北地区)	実施地区	1地区	2地区
	実施回数	1回	2回

(地域福祉座談会開催の状況(抜粋))



【海路・高田辺地区座談会】



【小田浦5・6・7地区座談会】



【国見地区座談会】

(2) ふれあいいいききサロンの普及・啓発

地域住民だれもが気軽に参加し、交流や地域の結びつきを深める拠点づくりとして、見守り活動や閉じこもり防止、新たな課題発見による支援の広がりにつなげるためにふれあいいいききサロンの普及・啓発に努めました。

活動内容	平成26年度	平成27年度
①ふれあいいいききサロン設置推進	10地区(8ヶ所)	11地区(9ヶ所)
②サロン活動支援(講師派遣他)	9回	24回
③サロン運営会議、代表者会議	1回	1回
④サロン新聞発行	1回	1回
⑤広報活動(機関紙掲載)	4回	2回



(海浦1・2、諏訪、計石東・西、古道、湯北、宮崎、市野瀬、伏木氏、市居原、)

〈サロンの状況（抜粋）〉



【市野瀬サロン“スマイル”】



【伏木氏サロン“小鳩サロン”】



【サロン運営代表者会議】

(3) 住民参加型福祉サービス「地域支え合い事業」の推進

住民同士の支え合いを基盤とし、見守り活動と生活支援を一体的に取り組むことで、地域の中で様々な生活課題を抱えている高齢者や障がい者等の孤立化を防止し、住民が共に暮らし共に生きるまちづくりを目指すことを目的に実施しました。

事業名	活動内容	平成26年度	平成27年度	
安心生活サポート事業	研修・研究	1回	1回	
	説明会等	7回	1回	
	広報活動	1回	1回	
	会員	利用会員	0回	0名
		サポート会員	7名	16名
		協力会員	1名	0名
協力店舗	9店舗	8店舗		



【事業説明会(吉尾地区)】

(4) 関係機関・団体等との連携強化

関係機関や団体等との情報の共有と課題把握に努め、地域福祉コーディネートの充実を図りました。

① 民生児童委員との連携（定例会等への参加）

- ◆ 毎月5日常任委員会、10日定例会
- ◆ 民生児童委員協議会視察研修並びに各種活動への参加
- ◆ 見守り新鮮情報の提供（地域包括支援センター）
- ◆ 見守り応援隊ネットワーク会議の実施（熊本見守り応援隊との連携）

② 芦北町地域ケア会議への参加

回数：11回

- 参加者：
- ・ 芦北町住民生活課介護保険係
 - ・ 芦北町地域包括支援センター
 - ・ 芦北町保健センター
 - ・ 芦北町福祉課高齢者福祉係
 - ・ 芦北町民生委員児童委員協議会
 - ・ 芦北町社会福祉協議会
 - ・ 水俣・芦北地域在宅医療連携拠点事務所
 - ・ 竹本医院医師
 - ・ 水俣総合医療センター地域リハビリセンター

内容：個別ケース事例検討

③ 芦北町健康づくり推進事業会議

日時：平成28年3月23日（月）14:30～

参加者：あしきた健康づくり実行委員会21名

場所：きずなの里

内容：芦北町健康づくり推進計画（案）について
グループワーク

④『熊本見守り応援隊』活動の推進

■ネットワーク会議の開催（1回）

日 時：平成28年3月30日（水） 13:30～15:00

場 所：きずなの里 トレーニング室

参加者：26名（民間事業者及び関係者）

- ・熊本日日新聞社（2販売店）
- ・日本郵便株式会社（3郵便局）
- ・芦北町民生委員児童委員協議会
- ・芦北消防署
- ・芦北町福祉課
- ・芦北町社会福祉協議会
- ・熊本県LPガス協会（1社）
- ・九州電力(株)八代営業所
- ・芦北警察署生活安全課
- ・芦北地域振興局福祉課
- ・芦北町地域包括支援センター



【ネットワーク会議】



【芦北消防署】



【芦北警察署】

II 地域福祉の担い手づくり

II-1 地域福祉活動推進員の育成

①地域福祉活動推進員の設置及び育成（総務課：地域福祉係）

地域福祉活動計画に基づき、自助・共助・公助の協働による地域福祉の推進体制の確立に向け、地域福祉活動推進員を設置し、区長、民生児童委員や専門機関等と連携を図り、地域住民とともに福祉の町づくりを推進しました。

また、住民参加による地域課題の解決を目指し、地域福祉コーディネート及び活動支援、人材育成・啓発事業等を行いました。

事業名	活動内容	平成26年度	平成27年度
小地域福祉推進事業	推進員設置数	377 名	361 名
	推進員会議・活動支援	31 回	30 回
	推進員全体会	1 回	1 回
	先進地視察研修	1 回	1 回
	地域福祉推進セミナー	1 回	1 回
	手引き作成・配布	380 部	9 部
水俣・芦北地域 見守り活動推進事業	熊本県地域福祉推進 フォーラム参加	1 回	1 回

■地域福祉活動推進員全体会の開催

日 時：平成28年3月21日(月) 10:00～11:40

参加者：区長・民生児童委員・地域福祉活動推進員68名、その他3名(計71名)

場 所：きずなの里 トレーニング室

内 容：◆地域福祉活動推進員表彰

◆活動事例の報告(伏木氏、市居原、
(豊岡・大川内西地区)

◆地域福祉に関する寸劇「地域の見守り
～気づき・声かけ・つなぐ～」

◆事務連絡(サロン新聞の発行について、
表彰状の配布について、たっしゅか会開催について)



【地域福祉活動推進員全体会】

■平成27年度地域福祉活動推進員研修会

日 時：平成28年2月2日(火) 10:20～15:30

参加者：地域福祉活動推進員27名 職員2名(計29名)

場 所：熊本市(熊本県立劇場)

内 容：平成27年度熊本県地域福祉推進フォーラムへ参加



【推進員研修参加者】

■平成27年度地域福祉活動推進員先進地視察研修

日 時：平成27年11月27日(金) 13:30～15:15

参加者：地域福祉活動推進員等36名 職員3名(計39名)

場 所：山都町清和山村基幹集落センター

内 容：山都町社協の取り組みについて

白糸第一地区支え合い活動について



【先進地視察研修】

■平成27年度地域福祉推進セミナー

日 時：平成28年1月31日(日) 10:00～11:45

参加者：82名(地域福祉活動推進員及び地域住民)

場 所：きずなの里 トレーニング室・ボランティア室

内 容：講演「地域の活性化につながるコミュニケーション術」

講師 熊本県立大学総合管理学部 教授 進藤 三雄 氏



【講師 進藤先生】

II-2 ボランティア活動への理解とセンター機能の充実

① ボランティアセンター事業(総務課：地域福祉係)

多くの住民にボランティア活動へのきっかけづくりを行い、養成したボランティアに対し、より多くの活動機会を提供できる体制の充実を図りました。

また、芦北町ボランティア連絡協議会や施設ボランティア連絡協議会と連携し、潜在的な人材を掘り起こし、幅広い活動につなげていけるようなネットワークづくりに努めました。



【傾聴ボランティア養成講座】

事業名	活動内容		平成26年度	平成27年度
共同募金 地域配分金事業 (ボランティア活動育成)	登録者状況	一般登録	33名	32名
		団体登録	16団体	16団体
	養成講座の開催 「傾聴ボランティアフォローアップ講座」 (平成25・26養成講修了者)		5講座 72名	1講座 16名
	幹旋及び派遣		189名	170名
	連絡会議・研修・交流会		17回	16回
	広報活動(広報紙)		5回	3回

2. ボランティア協力校の指定及び福祉教育の充実（総務課：地域福祉係）

町内小中学校での福祉講座の開催や夏休み期間を活用した福祉体験学習を実施し、子どもの頃から相手を思いやる心を育む福祉教育の充実を図りました。

また、地域で暮らす高齢者や障がい児（者）に対する理解が深められるよう、身近な地域において学ぶ機会を提供する福祉出前講座や福祉・介護チャレンジ教室を開催しました。



【福祉出前講座】

事業名	活動内容		平成26年度	平成27年度
共同募金 地域配分金事業 (ボランティア活動育成)	指定状況 (協力校)	保育園・幼稚園	5園	4園
		小中、高等学校	10校	10校
	福祉出前講座			
	①湯浦小4年生	28名	2校	2校
	②田浦小3年生	25名	62名	53名
	福祉体験学習			
	①中学生	84名	68名	90名
②高校生	2名	(延)146名	(延)179名	
③町外学生	4名			
福祉・介護チャレンジ教室				
①芦高福祉1年生	23名	1回 22名	1回 23名	

Ⅲ 安心して暮らせる地域づくり

Ⅲ-1 自立した生活の支援

①地域福祉権利擁護事業（総務課：地域福祉係）

住みなれた地域で安心して日常生活が送れるよう生活支援員を派遣し、認知症高齢者や知的障がい者への福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理等のサービスを提供しました。

年度	相談 援助 件数	契約 件数	解約 件数	実利用 者数	利用者内訳			
					認知症 高齢者	知的障 がい者	精神障 がい者	その他
平成27年度	158人	3人	1人	9人	5人	4人	0人	0人
平成26年度	133人	1人	3人	9人	6人	3人	0人	0人

②共同募金運動の推進及び地域配分金事業の実施（総務課：地域福祉係）

（１）赤い羽根共同募金運動（共同募金芦北町分会）

本年度も「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに10月1日より12月31日までの期間で、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されました。

芦北町においても地域福祉サービスの充実のために、町民の皆様一人ひとりに福祉への参加を呼びかけ、助け合いの輪が広がることを願い共同募金運動を実施しました。

年 度	戸別募金	職域募金	個人募金	その他の募金	合 計
平成27年度	5,737,465円	11,899円	9,000円	3,108円	5,761,472円
平成26年度	5,736,182円	38,170円	8,000円	18,830円	5,801,182円

（２）共同募金地域配分事業

共同募金配分金を活用し、公的制度では対応できない事業を実施し、地域福祉及び在宅福祉を推進しました。（前年度実績による配分額）

年 度	募金総額(A)	広域配分(B)	地域配分金(A)-(B)
平成27年度	5,801,182円	1,050,000円	4,751,182円
平成26年度	5,831,913円	1,064,000円	4,767,913円

①老人福祉活動

活動内容	実施日				活動実績	備 考
	年	月	日	曜		
①金婚夫婦お祝い （金婚達成夫婦へお祝品を贈る。）	27	9	10	水	69組	記念品贈呈(電波掛時計)
②お便り運動 （町内の小学校と連携し学生から独居高齢者等へ年賀等を送る。）	敬老の日				932名	敬老の日お祝い
	元旦				927名	年賀状
③地域“敬老会”支援 （各敬老会場へお茶（ペットボトル）の配布）	27 27	9 9	7 28	～	82会場 540本	町内の商店から直送
④見守りカレンダー・スケジュールシール及びメッセージカード配布 （新たな年を迎える時期に、地域で安心して暮らすように）	27	12	中		524名	「百歳生活カレンダー」 長寿健康豆知識がいっぱいの書き込みができるカレンダー 「スケジュールシール」 通院日等のシール 「メッセージカード」 新年の目標等記入し配布
⑤一人だけの金婚式 （婚姻の事実から50年経過し配偶者がいらっしやらない）	28	2	20	土	9名	ふれあい交流まつりで表彰 表彰状、記念品贈呈(電波掛時計)



【金婚夫婦お祝い】



【一人だけの金婚式】

②障がい児・者福祉活動

活動内容	実施日				活動実績	備考
	年	月	日	曜		
①地域間交流事業 (障がいに対する理解を深めて頂き、障がい者が健常者とともに共生しつつ、住みなれた地域の中で生活できるよう開催する。)	27	10	24	土	250名	あしきた障がいフォーラム 場所:しろやまスカイドーム 講演 柳岡克子氏 スポーツレクリエーション体験教室 ・バリアフリーディスクゴルフ ・卓球バレー等



【講演会】

【スポーツレクリエーション】

③児童・青少年福祉活動

■子供ふれあい教室 (子ども達に様々な体験や交流を通して豊かな感性、人間性を育み、子ども達の健全育成を図る。)

活動内容	実施日				活動実績	備考
	年	月	日	曜		
①世代間交流 (環境について考える) 講師 熊本県環境センター 大淵とも子氏	27	6	3	水	43名	・芦北保育園 (環境に関する学習と紙すき体験) 園児17名、民生委員 20名、園職員 2名、社協職員 4名
	28	2	25	木	48名	・湯浦保育園 (環境に関する学習と紙すき体験) 園児 25名、民生委員 17名、園職員 2名、社協職員 4名
②地域間交流 (芦北よかところ発見隊) 講師 市野瀬サロン「スマイル」 一藤美智子氏	27	11	14	土	20名	大野地区(市野瀬公民館) (料理体験:バウムクーヘン作り) 田浦小 10名、湯浦小 8名 佐敷小 2名



【紙すき体験】



【芦北“よかところ”発見】



■“こんにちは”赤ちゃん運動（子どもさんの誕生を祝い記念品を贈る。）

（記念品：ウォッシュタオルセット）

田浦地区	佐敷地区	吉尾地区	大野地区	湯浦地区	合計
12件	19件	0件	2件	23件	56件

※担当民生・児童委員と主任児童委員の友愛訪問で手渡しされています。

④母子・父子福祉活動

活動内容	実施日				活動実績	備考
	年	月	日	曜		
①親と子の一日旅行 （母子・父子家庭の児童の健全な育成と相互の交流を図る。）	27	10	25	日	43名	グリーンパークえびの（えびの市）、高千穂牧場（都城市）社協職員4名、民生・児童委員2名同行
②クリスマスプレゼント贈呈 （母子・父子世帯の児童及び交通遺児へのプレゼント）	27	12	25	土	198名	図書券（1,000円） 幼児 36名 小学生 103名 中学生 59名

⑤福祉育成・援助活動

■福祉育成事業

活動内容	実施日				活動実績	備考
	年	月	日	曜		
①福祉スポーツ大会 （それぞれの体力に応じたスポーツやレクリエーションを楽しみながら、コミュニケーションの輪を広げ健康の増進及び町民の融和を図る。）	27	11	20	金	296名	福祉施設 9施設 福祉団体 10団体 保育園 1保育所 芦高ボランティア 23名 （福祉課 1年生）
②福祉団体等活動支援 （福祉団体への助成金）	27 28	4 3	1 31	～	7団体	芦北町老人クラブ連合会 芦北町身体障害者福祉連合会 芦北町母子寡婦福祉連合会 難病友の会「みどりの会」 精神障がい者家族会 芦北町ボランティア連絡協議会 芦北町施設ボランティア 連絡協議会



【福祉スポーツ大会】

■地域福祉整備事業（地域住民が集える場の確保や子どもの居場所づくり）

活動内容	実施日				活動実績	備考
	年	月	日	曜		
①地域ふれあいベンチ設置事業	27	4	1	～	2地区	箆瀬地区 3台(グランドゴルフ場及び地区行事) 大野地区 2台 (グランドゴルフ場)
	28	3	31			
②地域ふれあい拠点づくり事業	27	8	19	水	1地区	塩浸地区 肘付椅子(室内用)10脚

■在宅介護者援助事業

活動内容	実施日				活動実績	備考
	年	月	日	曜		
①介護者のつどい (介護者のリフレッシュ及び情報交換の場所作り)	27	6	2	火	12名	場所:きずなの里 ・健康に関する料理作り ・介護保険法について ・情報交換他
	27	9	2	水	8名	場所:鶴の里、山門ぶどう園 ・情報交換他 ・介護相談 ・介護者リフレッシュ
	27	12	11	金	5名	場所:もやい館、湯の鶴 ・口腔ケアについて ・情報交換他 ・介護者リフレッシュ
	28	3	4	金	9名	場所:城南温泉 ・介護者リフレッシュ ・情報交換他
②紙おむつ券配付 (寝たきり高齢者及び認知症高齢者・障がい者等で常時紙おむつを必要とする方へ配布)	27	12	10	木	69名	おむつ券(3,000円分) 町内の契約商店(5店)から購入



【介護者の“つどい”】

■生活困窮者、災害被災者援助事業

活動内容	実施日				活動実績	備考
	年	月	日	曜		
①行旅病人旅費支給	27	4	1	～	16名	行旅病人旅費(500円/1人)
②災害見舞金支給 (災害世帯への見舞金)	—				3件	平成27年 6月 床上浸水 平成27年 8月 住宅火災 平成28年 3月 住宅火災

③福祉資金貸付事業（総務課：総務係）

(1) 福祉金庫貸付事業（生活つなぎ資金）

生活困窮者の一時的な生活上のつなぎ資金として貸し付けし、生活の安定と福祉の向上を図ることを目的に実施しました。（貸付金額：30,000円/回上限）

年度	新規貸付	貸付額	償還総数	償還額	貸付総数	未償還額(利息含む)
平成27年度	0件	0円	1件	18,586円	7件	190,741円
平成26年度	4件	120,000円	3件	53,000円	8件	198,034円

※平成27年度内、1件償還完了

(2) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に、熊本県社会福祉協議会を実施主体として、相談支援（窓口）業務を担いました。（貸付金額は各種によって異なる。）

年度	新規貸付	年度末貸付総件数 及び貸付総額	未償還残高	うち滞納
平成27年度	0件	(21件)15,407,600円	7,805,018円	(6件)3,355,850円
平成26年度	0件	(25件) 21,851,600円	10,015,744円	(8件) 3,477,850円

④生活困窮者等自立相談支援事業（新規事業）

生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、さまざまな支援を一体的かつ計画的に行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図る事業です。

本会には、主任相談支援員を配置しブロック社協、葦北郡（芦北町・津奈木町）、八代郡（氷川町）を統括し他の社協と連携・調整を行いその運営にあたります。

・事業費

「自立相談支援窓口（主任相談支援員）」・・・3,000,000円（県社協受託金）

「総合相談窓口」・・・1,350,000円（県社協事務負担金）

(1) 相談者数及び対応延人数

相談実人数			相談延回数	方法			
男性	女性	計		電話	来所	訪問	同行支援
9人	6人	15人	87回	32回	21回	29回	5回

(2) 相談者の年齢

20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才以上	合計
0人	4人	3人	3人	3人	2人	15人

(3) 相談経路

実人数	相談経路					
	本人	家族	知人	民生委員	関係機関	その他
15人	8人	0人	0人	0人	7人	0人

(4) 主な相談内容と対応（複数回答有）

病気や健康、障害のこと	住まいについて	収入・生活費のこと	家賃やローンの支払い	税金や公共料金等の支払い	債務について	仕事探し、就職について	仕事上の不安やトラブル	地域との関係について	家族との関係について	子育てのこと	介護のこと	ひきこもり・不登校	DV・虐待	食べるものがない	その他
5人	3人	15人	3人	5人	1人	4人	2人	1人	2人	3人	2人	1人	1人	3人	0人

5. 対応結果・方針

実人数	情報提供や相談のみ	自立相談支援機関による支援		他の制度や専門機関へのつなぎ		
		プラン策定	見守り・観察	貸付	生保	その他
15人	1人	4人	2人	5人	3人	0人

6. プラン策定及び事業利用の状況

法に基づく事業等						その他する関連事業	
住宅確保給付金	一時生活支援事業	家計相談支援事業	就労準備支援事業	認定就労訓練事業	自立相談就労支援	福祉資金貸付事業	就労自立促進事業
—	—	3人	1人	—	—	—	1人

⑤もやい直しセンター運営事業（総務課：総務係）

水俣病及び水俣病患者に対する差別や偏見をなくし、地域住民がそれぞれの立場や境遇を正しく理解し合い、みんなが仲良く楽しく暮らせる地域社会の実現のため、その学習の場と交流の機会を提供するため、次の事業を行いました。

(1) ふれあい再生事業（地域再生のための交流会等）

活動内容	実施日				参加者	備考
	年	月	日	曜		
①「きずなの里」ふれあい交流まつりの開催 	28	2	20	土	(来場者) 200名 7名 179名 40名	【目的】 地域住民一人一人の心の絆を結び、地域全体にもやい直しの輪を広げる。 ●一人だけの金婚式 (対象者:昭和40年婚姻の事実) ●ステージイベント (保育園児及び生きがい作り事業利用団体等による発表会:22団体) ●お楽しみ抽選会 ●温泉無料開放
②水俣病情報発信事業 (芦北町への後援協力)	27	11	8	日	100名	【講演会】 演題:「水俣病患者家族に生まれて」 語り部:杉本 肇氏

(2) 生きがいつくり事業（高齢者等の趣味や健康維持）

講座名	実施状況	年間延べ参加者数	
		平成26年度	平成27年度
リフォーム講座	月・火曜日/週	758名	884名
健康太極拳講座	月曜日/週	553名	511名

(3) 施設開放事業（もやい直しセンターの施設の開放）

年度	項目	年間延べ利用者数		計
		温泉施設利用	会議施設等利用	
平成27年度		11,755名	25,357名	37,112名
平成26年度		11,924名	33,769名	45,693名

⑥ シルバー人材センター事業（総務課：総務係）

(1) シルバー人材センター運営事業

芦北町シルバー人材センターでは、高齢者へ臨時的または短期的な就業の場を提供し、社会参加による生きがいつくりの推進に努めました。

また、会員の健康と就業上の安全・適正な就業を目指すため、講習会や研修会等を開催し安全な就業の推進を図りました。

① 会員の状況

年度	会員数	男性		女性		合計	
		就業会員数(率)	就業会員数(率)	就業会員数(率)	就業会員数(率)		
平成27年度	29名	28名 (96.6%)	34名	33名 (97.1%)	63名	61名 (96.8%)	
平成26年度	32名	31名 (96.9%)	31名	31名 (100%)	63名	62名 (98.4%)	

②事業実績

実績 年度	受注件数及び金額				就業延 会員数
	行政	一般企業等	個人・家庭	計	
平成27年度	13件 8,878,506円	135件 10,898,295円	232件 3,451,894円	380件 23,228,695円	6,651 人/年
平成26年度	14件 7,982,796円	145件 9,947,190円	294件 5,907,971円	453件 23,837,957円	6,943 人/年

③研修会等

活動内容	実施日				内 容	参加 者
	年	月	日	曜		
①剪定講習会	27	6	25 26	木 金	・基礎講習 ・実践講習 講師:西 繁好 氏	6名
②避難訓練 (八幡荘)	28	3	10	木	・社協職員『避難訓練』へ参加 ・消火訓練、館内設備の確認	6名
③避難訓練 (きずなの里)	28	3	11	金	・社協職員『避難訓練』へ参加 ・消火訓練、館内設備の確認	5名
④視察研修 (御休み処)	27	8	20	木	・熊本産業展示場(フードフェスタ)	4名
⑤ボランティア活動	27	10	23	金	御立岬キャンプ場の剪定	10名
	28	3	24	木	御立岬公園の清掃	9名



【剪定講習会】



【避難訓練 (消火訓練)】

④安全適正就業の推進

実施日				内 容	参加者
年	月	日	曜		
27	6	18	木	安全適正就業研修会(八代市)	事務局 2名
27	7	3	金	熊本県シルバー人材センター連合会「安全大会」(熊本市)	会 員 3名 事務局 3名

(2) 星野富弘美術館「御休み処」事業

星野富弘美術館の御休み処は、開設の平成19年から本会のシルバー人材センターが運営に当たっています。平成27年度も木・日曜日を除く週5日営業を行いました。

また、新メニューの開発のために、研修会(フードフェスタ)にも参加いたしました。近所の高齢者の拠り所や地域の食事の場として貢献しています。

	美術館利用者	一般利用者	年間売上
平成27年度	178人	2,905人	1,514,900円
平成26年度	209人	3,183人	1,692,160円



【店 内】



【昼定食】



【新メニュー弁当】

⑦介護保険事業、芦北町福祉サービス事業等委託事業（事業課）

□訪問介護事業（所）

1. 事業内容

	事業名称	サービスの対象者及び内容
1	（介護保険指定事業） 訪問介護事業	対象者：要介護認定者（要介護1～5） 内 容：居宅に訪問し、身体の清拭、排泄等の介助や、食事、洗濯、掃除等日常生活の介助・援助を行いました。
2	（地域支援事業） 介護予防・日常生活支援 総合事業 訪問型サービス	対象者：要支援認定者（要支援1～2） 内 容：居宅に訪問し、家事等の生活援助を行い日常生活の自立に向けた支援を行いました。
3	（障害者福祉サービス） 障害者居宅介護事業	対象者：身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児 内 容：居宅に訪問し、家事の援助や通院の介助を行いました。
4	芦北町障害者福祉事業） 障害者（児）移動支援事業	対象者：身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児 （屋外での移動に著しい制限のある65歳未満の者） 内 容：社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動の社会参加のための外出支援。（平成27年度実績なし）

2. 利用実績

（1）実利用者数

（人）

事業区分	事業名	介護保険認定者					障害者	計		
		要支援		要介護						
		1	2	1	2	3			4	5
（介護保険事業） 指定居宅サービス事業	訪問介護			92	27	15	40	21		195
（地域支援事業） 介護予防・日常生活 支援総合事業	訪問型サービス	242	241							483

障害福祉サービス事業	障害者居宅介護							30	30
芦北町障害者福祉事業	障害者移動支援							0	0
合 計		483		195				30	708
前年度実績		513		202				0	715
前年度との比較		▲30		▲7				30	▲7

(2) サービス別延利用回数

(回)

事業区分	事業名	サービス区分	利用実績	前年度実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	訪問介護	身体介護	989	2,480	403
		身体・生活	1,053		
		生活援助	841		
		(小計)	2,883		
(地域支援事業) 介護予防・日常生活 支援総合事業	訪問型サービス	訪問型サービスⅠ	1,095	3,193	▲272
		訪問型サービスⅡ	1,248		
		訪問型サービスⅢ	578		
		(小計)	2,921		
障害福祉サービス事業	障害者居宅介護	通院介助	12	0	169
		家事援助	157		
		(小計)	169		
芦北町障害者福祉事業	障害者移動支援	移動支援	0	126	▲126
合 計			5,973	5,799	174

(3) 事業収入の状況

事業収入	事業名	収入実績	前年度実績	比較
介護保険事業収入	訪問介護	8,851,150 円	8,628,670 円	222,480 円
	訪問型サービス	8,991,048 円	10,544,430 円	▲1,553,382 円
障害福祉サービス 事業等収入	障害者居宅介護	353,213 円	0 円	353,213 円
	障害者移動支援	0 円	311,642 円	▲311,642 円
合 計		18,195,411 円	19,484,742 円	▲1,289,331 円

□訪問入浴介護事業（所）

1. 事業内容

	事業名称	サービスの対象者及び内容
1	(介護保険指定事業) 訪問入浴介護事業	対象者：要介護認定者（要介護1～5） 内 容：寝たきりの高齢者等の家庭を移動入浴車で訪問し、入浴の介助を行い、身体の清潔保持と心身機能の維持等を図りました。
2	(介護保険指定事業) 介護予防入浴介護事業	対象者：要支援認定者（要支援1～2） 内 容：在宅にて入浴が困難な高齢者の家庭を移動入浴車で訪問し、入浴の介助を行い、身体の清潔保持と心身機能の維持等を図りました。

2. 利用実績

(1) 実利用者数

(人)

事業区分	介護保険認定者							計
	要支援		要介護					
	1	2	1	2	3	4	5	
(介護予防) 訪問入浴介護事業	0	24	2	22	6	47	23	124
合 計	24		100					124
前年度実績	0		108					108
前年度との比較	24		▲8					16

(2) サービス別延利用回数

(回)

事業区分	事業内容	サービス内容	利用実績	前年度実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	介護予防 訪問入浴介護	予防訪問入浴	83	0	84
		〃 ・部分浴	1		
		(小計)	84		
	訪問入浴介護	訪問入浴	381	381	9
		〃 ・部分浴	9		
		(小計)	390		
合 計			474	381	93

(3) 事業収入の状況

事業収入	事業名	収入実績	前年度実績	比較
介護保険事業収入	介護予防 訪問入浴介護	711,330円	0円	711,330円
	訪問入浴介護	4,909,060円	4,899,510円	9,550円
合 計		5,620,390円	4,899,510円	720,880円

□ 「きずなの里」通所介護事業（所）

1. 事業内容

	事業名称	サービスの対象者及び内容
1	(介護保険指定事業) 通所介護事業	対象者：要介護認定者（要介護1～5） 内 容：通所の方法により、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や生活機能訓練などのサービスを提供し、利用者の心身機能の維持向上と、利用者の家族負担の軽減を図りました。
2	(地域支援事業) 介護予防・日常生活支援 総合事業 通所型サービス	対象者：要支援認定者（要支援1～2） 内 容：要介護状態になることをできる限り防ぐ（発生を予防する）ことを目的に、通所の方法により、高齢者の有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるよう支援しました。
3	(地域支援事業) 介護予防・日常生活支援 総合事業 閉じこもり予防 通所支援事業	対象者：一人暮らし等で、家に閉じこもりがちな高齢者。 （事業対象者（介護保険認定外）） 内 容：高齢者の自立的生活の助長と社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を目的に、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や生活機能訓練などのサービスを提供しました
4	(芦北町障害者福祉事業) 障害者（児） 日中一時支援事業	対象者：障がい者及び障がい児 （一時的に見守り等の支援が必要な65歳未満の者） 内 容：日中の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援及び介護負担の軽減を目的に、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の支援や生活機能訓練などのサービスを提供しました。

2. 利用実績

(1) 実利用者数

(人)

事業区分	事業名	介護保険認定者					事業対象者	障がい者	計	
		要支援	要介護							
			1	2	3	4				5
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	通所介護		188	97	34	16	7		342	
(地域支援事業) 介護予防・日常生活 支援総合事業	通所型サービス	425							425	
	閉じこもり 予防通所支 援							82	82	
芦北町障害者福祉事業	日中一時支 援							10	10	
合 計		425	188	97	34	16	7	82	10	859
前年度実績		410	182	68	71	12	16	76	12	847
前年度との比較		15	6	29	▲37	4	▲9	6	▲2	12

(2) サービス別延利用回数

(回)

事業区分	事業名	サービス区分	利用実績	前年度実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	通所介護	通所介護Ⅱ21	2,017	1,966	51
		通所介護Ⅱ22	753	523	230
		通所介護Ⅱ23	285	541	▲256
		通所介護Ⅱ24	135	109	26
		通所介護Ⅱ25	17	85	▲68
		(計)	3,207	3,224	▲17
(地域支援事業) 介護予防・日常生活 支援総合事業	通所型サービス 1・2		2,530	2,607	▲77
	閉じこもり予防通所支援		299	296	3
芦北町障害者福祉事業	障害者(児)日中一時支援		42	45	▲3
合 計			9,285	9,396	▲111

(3) 事業収入の状況

事業収入	事業名	収入実績	前年度実績	比較
介護保険収入	通所型サービス	11,394,369 円	13,150,130 円	▲1,755,761 円
	通所介護	25,128,011 円	26,989,650 円	▲1,861,639 円
受託金収入	閉じこもり 予防通所支援	860,520 円	840,640 円	19,880 円
障害福祉サービス 事業等収入	障害者(児) 日中一時支援	232,680 円	244,300 円	▲11,620 円
合 計		37,615,580 円	41,224,720 円	▲3,609,140 円

□居宅介護支援事業(所)

1. 事業内容

	事業名称	サービスの対象者及び内容
1	(介護保険指定事業) 居宅介護支援事業	対象者：要介護認定者（要介護1～5） 内 容：(1)居宅サービス計画（ケアプラン）の作成。 (2)要介護認定のための申請手続き代行。 (3)居宅サービス計画に基づく居宅サービスの提供が確保されるようサービス事業者等との連絡調整。 (4)サービス実施状況の把握及びこれに基づく給付。
2	(地域包括支援センター 受託事業) 介護予防居宅介護支援事業	対象者：要支援認定者（要支援1～2） 内 容：(1)介護予防サービス計画（予防プラン作成） (2)要支援認定のための申請手続き代行。 (3)介護予防計画に基づく介護予防サービス

		<p>の提供が確保されるようサービス事業者等との連絡調整。</p> <p>(4) サービス実施状況の把握。</p>
--	--	---

2. 利用実績

(1) 実利用者数

(人)

事業区分	介護保険認定者							計
	要支援		要介護					
	1	2	1	2	3	4	5	
居宅介護（介護予防）支援	130	59	602	226	112	107	60	1,296
前年度実績	131	152	574	202	130	124	29	1,342
前年度との比較	▲1	▲93	28	24	▲18	▲17	31	▲46
	▲94		48					

(2) サービス別延利用回数

(回)

事業区分	事業内容	サービス区分	利用実績	前年度実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅介護 支援事業	居宅介護支援	介護予防支援	189	283	▲94
		居宅介護支援Ⅰ 1	828	776	52
		居宅介護支援Ⅱ 2	279	283	▲4
合 計			1,296	1,342	▲46

(3) 事業収入の状況

事業収入	事業名	収入実績	前年度実績	比較
介護保険事業収入	介護予防支援	816,840円	1,208,040円	▲391,200円
	居宅介護支援	15,746,780円	15,500,340円	246,440円
合 計		16,563,620円	16,708,380円	▲144,760円

□ 「食」の自立支援事業

1. 事業内容

	事業名称	サービスの対象者及び内容
1	(芦北町地域支援事業) 「食」の自立支援事業	対象者：①要介護認定者 ②要支援認定者 ③介護予防・日常生活支援総合事業対象者 内 容：(1)配食サービスの実施 (2)安否確認

2. 利用実績

(1) 実利用者数

(人)

事業区分	利用者			計
	要介護認定者	要支援認定者	介護予防・日常生活支援総合事業対象者	
芦北町地域支援事業	41	214	54	309
前年度実績	290			
前年度との比較	19			

(2) サービス別延利用回数

(回)

事業区分	サービス区分	利用実績	前年度実績	比較
(介護保険事業) 芦北町地域支援事業	基本	3,853	3,125	728
	距離割増	510	305	205
	キャンセル・不在	15	4	11
合計		4,378	3,434	944

(3) 事業収入の状況

事業収入	収入実績	前年度実績	比較
芦北町受託金収入	3,725,600円	3,003,050円	722,550円
合計	3,725,600円	3,003,050円	722,550円

□ 芦北町高齢者生活支援ハウス運営事業

生活支援ハウス運営事業では、在宅生活に不安のある高齢者の方に対し、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、安心して健康で自立した生活が送れるよう支援しました。

平成27年度の実績としましては、生活援助員2名を配置し、3名（7部屋中）の入居者に対して、日常生活に係る相談や助言等の援助を行いました。

また、休日や夜間については、宿日直者を配置し、緊急時の対応に備え、入居者が安心して生活できるよう支援しました。

(1) 入居（者）の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(2) 安心・安全かつ快適な生活のための支援について

- ①施設設備の保守など適正な管理を行いました。
- ②定期的な巡回と、必要に応じた個別の安否確認を行いました。また、入居者の心身の状態によりコール指導を行い、安心して過ごせるよう配慮しました。
- ③調理機器等の取扱いについての個別指導や年2回の消防訓練への参加等、防火・避難

対策の強化を図るように努めました。

- ④台風や大雨など事前に災害が予想される場合においては、入居者への注意喚起を行うとともに、避難体制（宿日直体制）の強化に努めました。
 - ⑤入居者個々の能力や趣味の違いもあるため、個別対応に取り組み、生活スタイルに合わせた環境作りを入居者と共に行いました。また、清潔・衛生面を配慮する事で、より快適な生活への支援を行いました。
 - ⑥入所者の生きがいつくりや親交を深めるため、デイサービスの季節行事や地域・世代間交流などへの参加を促しました。
- (3) 入居者の相談援助について
- ①入居者の急変時は、家族・病院へ連絡し、病院受診の支援を行いました。また、入居者の生活上の課題については、家族、ケアマネージャー、役場、医療機関と連携し、課題解決に向けたカンファレンスを行い今後の生活がスムーズにいくように調整を行いました。
 - ②入居者間のコミュニケーションや関係について相談援助を行いました。

□「八幡荘」通所介護事業（所）

当事業（所）では、介護保険制度の趣旨及び事業所の基本方針に基づき、要介護認定者への通所介護サービスの提供と、芦北町第6期介護保険事業計画の策定により新たに創設された芦北町地域支援事業の「介護予防・日常生活支援総合事業」による要支援認定者、基本チェックリストにて判断された介護予防・生活支援サービス事業対象者への通所型サービスを提供し、利用者が可能な限り在宅においてその有する能力に応じ、自立した生活を営むことができるようサービスの提供に努めました。

1. 事業内容

- (1) 必要な日常生活上の介助（支援）及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立間の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的・精神的負担の軽減を図れるようサービスの提供に努めました。
- (2) 在宅に引きこもりがちな一人暮らし高齢者や認知症高齢者が、「八幡荘」デイサービスセンターに通所することにより、生活に「ハリ」と「リズム」をつくり、精神的安定を図れるよう努めました。
- (3) 季節行事の実施と保育園児や民生委員児童委員、各種ボランティア等地域住民との交流の機会を提供し、利用者の生きがいつくりと社会参加に努めました。
- (4) ゆったりとした安全な環境を作り、住み慣れた地域で在宅生活を継続できるよう、またご家族や地域の方からも信頼されるよう努めました。

2. 利用実績

(1) 実利用者数

(人)

事業区分	事業名	介護保険認定者							介護予防 対象者	計
		要支援		要介護						
		1	2	1	2	3	4	5		
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	通所介護			97	17	0	9	0		123
(地域支援事業) 介護予防・日常生活 支援総合事業	通所型サービス	73	37							110
	閉じこもり予防 通所支援								109	109
合 計		73	37	97	17	0	9	0	109	342
前年度実績		66	34	78	5	11	17	0	145	356
前年度との比較		7	3	19	12	▲11	▲8	0	▲36	▲14

(2) サービス別延利用回数

(回)

事業区分	事業名	サービス区分	利用実績	前年度実績	比較
(介護保険事業) 指定居宅サービス事業	通所介護	通所介護 I 21	1,042	799	243
		通所介護 I 22	116	14	102
		通所介護 I 23	0	103	▲103
		通所介護 I 24	32	48	▲16
		通所介護 I 25	0	0	0
(地域支援事業) 介護予防・日常生活 支援総合事業	通所型サービス	通所型サービス1	316	340	▲24
		通所型サービス2	363	286	77
	閉じこもり予防通所支援		422	575	▲153
合 計			2,291	2,165	126

(3) 事業収入の状況

事業収入	事業名	収入実績	前年度実績	比較
介護保険収入	通所型サービス	2,843,866 円	3,199,560 円	▲355,694 円
	通所介護	9,464,963 円	8,417,230 円	1,047,733 円
受託金収入	閉じこもり予防 通所支援事業	1,196,480 円	1,632,460 円	▲435,980 円
合 計		13,505,309 円	13,249,250 円	256,059 円

□田浦福祉センター管理運営事業

田浦福祉センター管理運営事業では、地域住民からの申請や受付の管理事務と、建物や器具備品等の維持管理に努めました。平成27年度利用実績としましては、利用日数が237日で、利用者数が学童保育児童増により延べ3,792人(391人増)でした。

年度	年間延べ利用者数		合計	利用者内訳			
	大広間	教養娯楽室 (会議室)		児童クラブ	地域住民	介護予防	デイサービス
利用実績	3,643名	149名	3,792名	2,976名	260名	208名	348名
前年度実績	3,362名	39名	3,401名	2,808名	288名	166名	139名
比較	281名	110名	391名	168名	▲28名	42名	209名

□放課後児童健全育成（田浦児童クラブ）事業

田浦小学校区を対象に放課後や夏休み・冬休み等の長期休暇において、子供の安全・安心を確保するため、適切な遊び場及び生活の場を提供し、その健全育成を図るため、運営主体となります社会福祉法人「千隆福祉会」へ協力し、放課後児童支援員（有資格者）の派遣を行いました。

内容 月	利用状況				派遣(協力)状況		
	開所日数	登録者数	延利用者数	1日平均	派遣日数	派遣員数	派遣時間
4月	20日	21人	290人	14.50人	20日	1人	71.0時間
5月	18日	20人	295人	16.39人	18日	1人	48.0時間
6月	22日	20人	353人	16.05人	22日	1人	55.5時間
7月	21日	22人	337人	16.05人	21日	1人	57.0時間
8月	18日	22人	207人	10.89人	18日	1人	54.0時間
9月	17日	19人	209人	12.29人	17日	1人	46.5時間
10月	19日	19人	253人	13.32人	19日	1人	53.0時間
11月	19日	20人	265人	13.95人	19日	1人	52.5時間
12月	19日	21人	253人	13.32人	19日	1人	53.5時間
1月	17日	21人	212人	12.47人	17日	1人	49.0時間
2月	19日	20人	284人	14.95人	19日	1人	54.0時間
3月	22日	20人	252人	11.45人	21日	1人	61.0時間
計	231日	245人	3,210人	13.89人	230日	12人	655.0時間

⑧芦北町地域包括支援センター事業（地域包括支援センター）

地域包括支援センター事業係

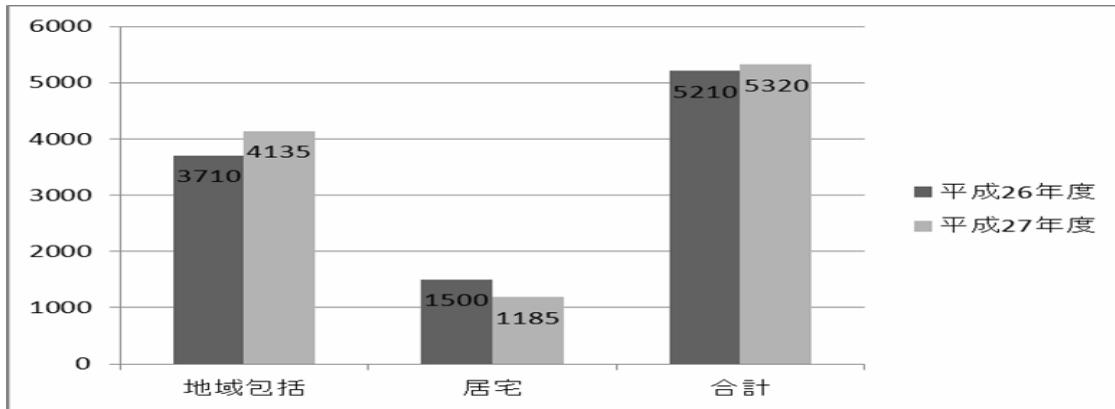
1. 介護予防ケアマネジメント業務

要介護状態等になることを予防するため、その心身の状況等に応じて対象者自らの選択に基づき、介護予防事業に積極的に参加し、日常生活の中で介護予防の取り組みを習慣化し、住み慣れた地域で元気に過ごしてもらうことを目的に以下の事業を実施しました。

平成27年度介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント数

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センター	323	327	333	336	336	344	361	352	358	352	351	362	4,135
居宅介護支援事業所	99	102	107	107	103	100	100	90	94	98	91	94	1,185
計	422	429	440	443	439	444	461	442	452	450	442	456	5,320

平成26年度・平成27年度の介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント数比較



【介護予防・生活支援サービス事業】

平成27年度介護予防ケアマネジメントB・C数※

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアマネジメントB	67	66	67	66	62	60	57	57	56	54	56	56	724
ケアマネジメントC	23	1	3	0	1	1	1	1	0	0	1	1	33
計	90	67	70	66	63	61	58	58	56	54	57	57	757

※ケアマネジメントBとは：簡略化した介護予防ケアマネジメント

サービス担当者会議を省略したケアプランの作成と間隔をあけて必要に応じてモニタリング（介護提供者の活動と利用者の生活を見守る）を行う。

※ ケアマネジメントCとは：初回のみ介護予防ケアマネジメント

地域包括支援センターによるモニタリングは行わない。

【一般介護予防事業】

(1) 一般（元気）高齢者を対象に介護予防の普及啓発を図るため、口腔ケア教室・口腔ケアモデル事業を実施しました。

○平成27年度口腔ケア啓発事業実施状況

日次	地区名	参加人数	日次	地区名	参加人数
7月17日	計石サロン (フォローアップ)	22名	11月20日	古道地区 サロン	13名
11月9日	伏木氏地区 サロン	14名	2月23日	市野瀬地区 サロン	12名
11月15日	宮崎地区 サロン	24名	3月8日	田浦町地区	7名
合 計					92名

○口腔ケアモデル事業実施状況（諏訪地区サロン）

	日次	参加人数
1回目	6月16日	11名
2回目	10月20日	11名
3回目	2月16日	10名
合計(延参加者数)		32名

■課題・問題点について

平成27年度は介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントに加え、介護予防ケアマネジメントB・Cが新たに加わったことと、要支援認定者の増加、居宅介護支援事業所への委託が進まなかったことで、担当するケースが更に増加しています。これらの増加した業務量に対応するため、ハローワークを通じて介護支援専門員等を募集してきましたが、応募がありませんでした。

芦北町は平成27年度より介護予防・日常生活支援総合事業に取り組むこととなり、介護認定申請手続きにおいて基本チェックリストを添付する等の窓口業務に変更がありました。また、介護保険負担割合証の交付やマイナンバー制度の開始もあり、申請様式の変更や書類の確認等が新たに加わってきております。変更当初は混乱が生じましたが、落ち着いてきています。

■今後の方向性

増加する介護予防ケアマネジメント業務に対応するため、介護支援専門員を増員します。今後も各種制度の変更や改正が考えられることから、住民生活課介護保険係等の関係機関と連携を図り適切に対応していきます。

2. 総合相談業務

高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、適切なサービス等が利用できるよう関係機関等との連絡調整を行いました。

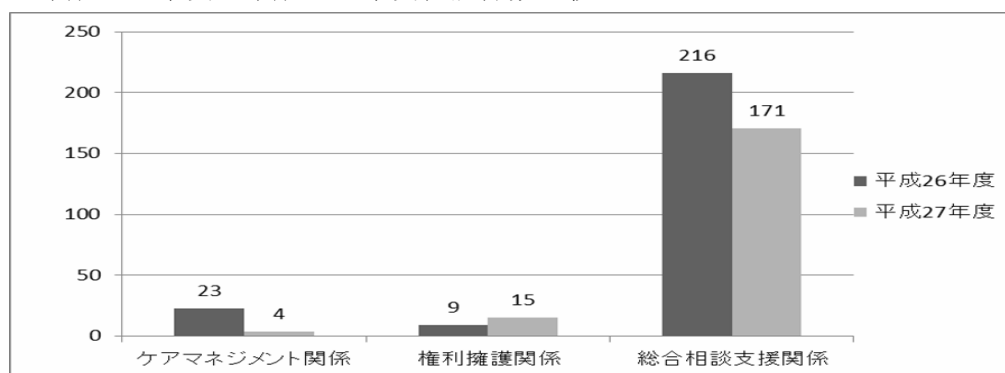
◇各種相談受付状況

■相談件数

(単位：件)

ケアマネジメント関係		権利擁護関係			総合相談支援業務関係		
介護支援専門員の日常業務に関する指導、相談	支援困難事例等の相談、指導	高齢者虐待に関する相談	権利擁護、成年後見に関する相談	消費者被害に関する相談	介護や介護保険等福祉に関する相談	健康や病気など保険、医療に関する相談	その他の相談
4	0	7	5	3	148	20	3
総 数					190		

■平成26年度・平成27年度相談件数比較



■相談対応

相談対応方法	件数	割合 (%)
介護認定申請手続き代行	79	41.6
担当ケアマネに連絡	11	5.8
サービスや制度の紹介	62	32.7
在宅介護支援に連絡	2	1.0
行政機関に連絡	8	4.2
医療機関へ連絡	11	5.8
民生児童委員に連絡	6	3.1
その他（福祉用具の自費レンタル等）	11	5.8

◇地域支援ネットワーク構築

○要援護高齢者等実態把握調査実施（平成27年4月：民生児童委員協議会の協力）

地区名	虚弱	独居			高齢者のみ	
		男	女	計		内、高齢者夫婦
佐敷地区	116	77	229	306	332	303
平成26年度	104	73	221	294	307	281
前年比	111.5%	105.5%	103.6%	104.1%	108.1%	107.8%
吉尾地区	27	21	68	89	68	57
平成26年度	32	20	68	88	72	59
前年比	84.4%	105.0%	100.0%	101.1%	94.4%	96.6%
大野地区	19	19	64	83	73	62
平成26年度	19	13	64	77	71	62
前年比	100.0%	146.2%	100.0%	107.8%	102.8%	100.0%
湯浦地区	108	64	216	280	251	227
平成26年度	115	58	215	279	252	222
前年比	93.9%	110.3%	100.5%	100.4%	99.6%	102.3%
田浦地区	81	74	129	203	267	247
平成26年度	91	71	129	200	253	233
前年比	89.0%	104.2%	100.0%	101.5%	105.5%	106.0%
合計	351	255	706	961	991	896
平成26年度	361	235	697	932	955	857
前年比	97.2%	108.5%	101.3%	103.1%	103.8%	104.6%

◇福祉用具の貸与状況（緊急かつ臨時的）

車椅子	ベッド	吸引器	ポータブルトイレ	マットレス	シャワーチェア
2	5	1	7	5	1

■課題・問題点について

介護予防日常生活支援総合事業においては、初期相談での対応において基本チェックリスト等の簡便なツールを用いて早期にサービス利用につなげることで認定者数の軽減、重度化予防の為の取り組みに円滑に繋がるような仕組みとなっておりますが、形式上基本チェックリストを取るのみで、上手く機能していません。また、総合事業判定会議も毎週1回水曜日に開催されていますが、ケアマネジメントC（食の自立支援事業）のみの判定となっております。

■今後の方向性

初回相談対応を充実し、円滑なサービス利用につながる仕組みについて介護保険係と再度打合せを行い、窓口業務での共通認識を確認し、介護予防日常生活支援総合事業が円滑に効率的に利用できる体制を構築していきます。

3. 権利擁護業務

権利侵害を受けている、または受ける可能性がある高齢者への支援ができるよう関係機関との連携を図り、高齢者虐待や消費者被害等が未然に防止できるよう普及啓発を行いました。

◇高齢者虐待・消費者被害防止等の為の普及啓発活動

○民生児童委員協議会定例会での周知：毎月1回（見守り新鮮情報）

○芦北町認知症ケア高齢者虐待防止等研究会で「高齢者虐待とは～虐待に気づく視点～」をテーマに高齢者虐待防止に関する研修会を開催

◇高齢者虐待を含む権利侵害等ケースへの支援

日 次	分 類	ケース概要及び対応状況
5月7日	経済的虐待、介護・世話の放棄	担当の介護支援専門員より相談がある。施設入所中で入所費用の支払いが滞っている。通帳管理は息子が行っている。息子と連絡をとり、通帳を本人へ返してもらい支払いが可能となる。
7月6日	身体的虐待	担当の介護支援専門員及び通所スタッフからの相談。通所サービス利用時に手の甲、臀部に痣が確認された。担当介護支援専門員に確認し、福祉課高齢者福祉係へ連絡をとり、介護者の介護負担軽減を検討する。
8月28日	虐待とは言い切れないが不適切な状況	近隣者より怒鳴り声や大きな声、言い争っている声が聞かれると、地域包括支援センターに相談がある。担当介護支援専門員と同行訪問し、介護者の負担軽減を検討することとなる。
12月2日	その他（近隣トラブル）	近隣者から嫌がらせを受けていると福祉課高齢者福祉係へ相談があり、同行訪問し確認する。防犯カメラの設置を検討。
12月11日	身体的虐待、介護・世話の放棄	通所サービススタッフより、肩に痣があり、手の甲の皮膚の剥離が見られ、不適切な介護が原因ではとの相談が福祉課高齢者福祉係にある。通所サービス事業所へ訪問し確認、本人面談、家族面談を行う。医療機関への入院となる。
1月8日	その他（近隣トラブル）	嫌がらせを受けたと思い込んで困っているとのことで、地域包括支援センターへ来所相談があり、人権擁護員へつなぐ。
3月4日	心理的虐待	高齢者のみ夫婦世帯で、夫からの暴言があり、親せき宅に身を寄せている。福祉課高齢者福祉係と一緒に本人面談を行う。介護認定者申請手続きを行い、介護

		サービス利用を検討する。
--	--	--------------

◇権利擁護相談会（司法書士による相談）

日 次	活 動 実 績	相談件数	場 所
7月17日	・遺産相続について(2件) ・成年後見制度について	3件	きずなの里
2月22日	・成年後見制度について ・公正証書遺言について	2件	きずなの里

■課題・問題点について

高齢者虐待に関する相談や通報があり、福祉課高齢者福祉係と連携し対応していますが、担当の介護支援専門員や通所スタッフからの相談が主で、高齢者虐待に気づく視点等を広く周知していく必要があります。

■今後の方向性

高齢者虐待防止に関する研修会や広報誌等での周知を行います。また、福祉課高齢者福祉係と連携し、高齢者虐待ケースに対して迅速に適切に対応していきます。

4. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

介護支援専門員等の資質向上を図るため、芦北町介護支援専門員等ネットワーク連絡会による研修会を開催するとともに、地域ケア会議等を通して介護支援専門員への個別支援を行いました。

◇芦北町介護支援専門員定例会開催状況

毎月1回第3水曜日午後1時30分から開催し、18名～29名の参加がありました。

◇芦北町介護支援専門員等ネットワーク研修会及び各種研修会開催状況

日 次	活 動 実 績	参加者数
1月22日	介護支援専門員勉強会 「課題整理総括表の記入の仕方」 講師：介護支援専門員アドバイザー 野口美樹氏	17名

◇地域ケア会議等開催状況

毎月1回第3水曜日午後3時から開催し、1事例から3事例の検討を行いました。

◇地域ケア会議アドバイザー派遣事業（熊本県の事業）

【事業の目的】

地域ケア会議は、高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた有効な手法であり、今般の介護保険法改正により市町村が地域ケア会議を活用することが法定化された。このため、地域医療介護総合確保基金（介護分）を活用し、市町村に地域ケア会議アドバイザーを派遣し、地域ケア会議の開催、充実を支援する。

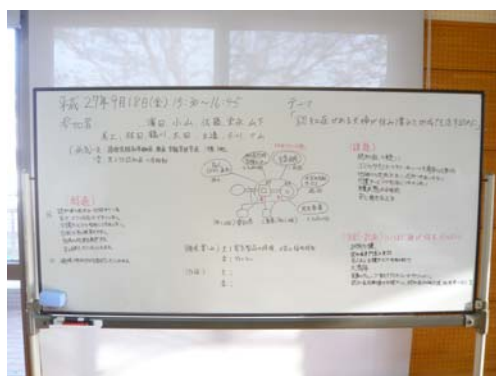
【平成27年度地域ケア会議アドバイザー派遣市町村】

阿蘇市、南関町、小国町、芦北町、苓北町

【事業内容】

- ・地域ケア会議の開催、充実の促進のため、市町村に地域ケア会議アドバイザーを派遣
- ・1市町村あたり3回程度の実地支援を行う。

日次	活動実績	参加者
8月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の開催状況、位置づけ ・地域ケア会議開催における留意点 ・熊本県内の地域ケア会議開催状況 	22名
11月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・芦北町地域ケア会議キャッチフレーズについて ・芦北町地域ケア会議におけるルールについて 	33名
2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の趣旨、留意点 ・地域ケア会議の進め方 ・模擬地域ケア会議 	39名



(地域ケア会議アドバイザー派遣事業後の地域ケア会議の開催状況)

◇介護給付費適正化ケアプランチェック

介護保険係が行うケアプランチェックに主任介護支援専門員が協力し、地域包括支援センター及び町内居宅介護支援事業所の48ケースのケアプランチェックを行いました。

■課題・問題点について

平成27年度は地域ケア会議アドバイザー派遣事業を活用し、地域ケア会議の効果的な進め方についての研修を受けました。個別課題の把握から地域課題の把握につなげていく方法等を学ぶことができ、今後、実際の地域ケア会議で活用していく必要があります。また、地域課題の把握を積み重ね、地域課題の検証を行い、政策形成につながっていく仕組みも構築していく必要があります。

介護給付費適正化ケアプランチェックでは、48ケースのケアプランチェックを行い、各居宅介護支援事業所を回る中で、地域の多様なサービスや社会資源等を知りたい、地域での受け皿となるサービスが必要といった課題が聞かれました。

■今後の方向性

医療（リハビリ）との連携強化を図りつつ、地域ケア会議アドバイザー派遣事業で学んだ事を活かし、個別課題の把握から地域課題の把握を行い、地域包括ケアシステムの中核的な位置づけを担うことができるよう、会議を充実していきます。

また、生活支援コーディネーターが配置され、協議体で地域の社会資源の把握やサービスの開発、調整等を行いつつ、介護支援専門員への情報提供を行い、多様なサービスや社会資源等とニーズがマッチングできるよう調整していきます。

5. 認知症総合支援業務

認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で生活を続けていくために、地域における医療及び介護の連携強化並びに町内に居住する認知症が疑われる人、認知症の人及びその家族に対する支援体制の強化を図りました。

(1) 認知症初期集中支援推進事業

《認知症初期集中支援チーム勉強会及び研修会参加状況》

- ・平成27年6月から毎月1回認知症初期集中支援チーム勉強会を開催。
- ・平成27年9月12日～13日には大阪府で認知症初期集中支援チーム員研修会が開催され、芦北町地域包括支援センターから看護師、社会福祉士が参加。

《認知症初期集中支援チームに関する普及啓発》

- ・町内医療機関、歯科医院、薬局、金融機関、民生児童委員、計石地区サロン、道川内西地区住民、新清苑、サロン代表者へ周知。(1～3月)
- ・広報あしきた1月号へ掲載。

《訪問支援対象者の把握》

- ・介護保険認定者で認知症高齢者の日常生活自立度がⅡa以上（日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭外で多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態）で、サービス未利用の方を抽出。
- ・かかりつけ医や家族、関係機関からの相談。

《認知症初期集中支援チーム員会議開催状況》

日次	活動実績	参加者数	場所
1月19日	・認知症初期集中支援チーム員研修復命 ・チーム員で使用する様式について ・チラシの修正について ・今後の活動について	17名	きずなの里
2月19日	・2事例の支援方針等の検討	13名	きずなの里
3月18日	・支援経過報告 ・2事例の支援方針等の検討	13名	きずなの里



(認知症初期集中支援チーム員会議開催の様子)

(2) 認知症地域支援・ケア向上推進事業

○認知症地域支援推進事業

《地域に応じた医療・介護サービス事業所や地域の支援者をつなぐ連携支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務》

・1～3月までの認知症に関する相談件数

相談者の内訳	隣人・親類	民生委員	かかりつけ医	子ども(別居)	警察	介護支援専門員
件数	1	4	1	2	1	1
総 数						10

・相談対応方法

対応方法	介護保険申請	初期集中支援チームで対応	包括支援センター職員による訪問、支援
件 数	2	3	5

《認知症を抱える家族会「たけのこ会」への活動支援》

- ・夜の部 (毎月第2水曜日 19時から21時 2名～3名の参加)
- ・昼の部 (毎月第3水曜日 13時30分～15時30分 3名～12名の参加)
- ・リフレッシュ会 (10月29日)、新年会 (1月13日)、花見 (3月30日)

○認知症ケア向上推進事業

《平成27年度認知症サポーター養成講座開催状況》

・学校 (小学校・中学校・高校) 3回、地域2回、職域1回計6講座開催し、147名の認知症サポーターを養成。



(内野小学校5年生)



(田浦地区一般公募)

《キャラバンメイト連絡会》

日 次	活 動 実 績	参加者数
4月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・班での活動について ・班編成について ・認知症サポーター養成講座の開催予定について 	16名
2月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・班での活動について ・認知症サポーター養成講座の開催予定について ・各研修会のお知らせ 	18名

《キャラバンメイトスキルアップ研修会》

日 次	活 動 実 績	参加者数	場 所
3月17日	小中高における認知症サポーター養成講座について	9名	グランメッセ 熊本

《認知症学習会（講師：竹本医院 院長 森健一郎先生）》

日 次	活 動 実 績	参加者数	場 所
2月20日	道川内西地区	15名	船津公民館
2月27日	ふれあいいいききサロン代表者	13名	きずなの里

《芦北町認知症ケア・高齢者虐待防止等研究会活動状況》

日 次	活 動 実 績	参加者数	場 所
7月8日	運営委員会 ①平成26年度活動報告 ②芦北町高齢者虐待対応について ③芦北町における認知症施策の推進について ④平成27年度活動計画	13名	きずなの里
2月22日	高齢者虐待に関する研修会 「高齢者虐待とは～虐待に気づく視点～」 講師：水俣市社会福祉協議会 秋山真輝氏 ※認知症サポーターフォローアップ研修と兼ねて開催	79名 (うち認知症サポーター15名)	きずなの里

■課題・問題点について

- ・平成28年1月19日より認知症初期集中支援チームの活動を開始しましたが、周知が十分ではありません。

■今後の方向性

- ・認知症サポーター養成講座や認知症学習会等で認知症初期集中支援チームの紹介を行い、広報誌等も活用して取り組みを紹介していきます。
- ・認知症の方の早期発見・早期対応の体制を強化するため、認知症に対する理解を深めてもらうような啓発活動と認知症初期集中支援チームの活動を充実させていきます。

6. 生活支援体制整備業務

高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築に向けた準備をおこないました。

◇生活支援コーディネーターを配置

◇地域ケア会議への参加（毎月1回第3水曜日）

◇社会福祉協議会との連絡調整

- ・地域福祉活動推進員との連携
- ・芦北町民生児童委員との連携（定例会へ参加）
- ・ボランティア連絡協議会への参加

■課題・問題点について

平成27年度は年度途中で生活支援コーディネーターを配置し、地域ケア会議への参加や社会福祉協議会との連絡調整を中心に行ってきましたが、社会資源、ニーズの把握、協議体の設置が行われていません。

■今後の方向性

生活支援サービスの開発や調整、ニーズ把握等を行う協議体設置を住民生活課介護保険係に働きかけ一体となって体制を整備し、高齢者実態把握調査及び社会資源調査を行い、社会資源、地域のニーズ把握を行います。

地域ケア会議への参加を通して地域課題の把握を行い、協議体の活動を通して生活支援サービスの開発や調整を行っていきます。

⑨ 転倒骨折予防事業

（地域包括支援センター：介護予防事業係）

事業目的

町内69地区の公民館等において、高齢者ができる限り介護状態に陥ることなく、健康で生き生きとした生活を送れるよう、日常生活における健康相談や運動機能訓練等を提供することを目的に開催しております。

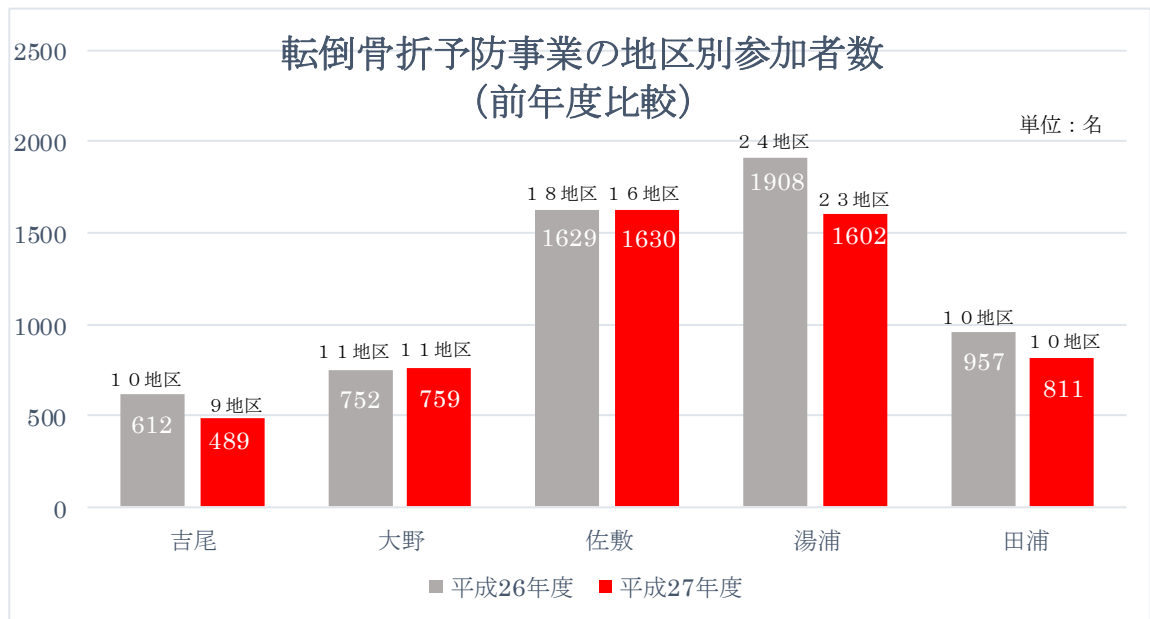
事業内容

参加者自身の健康づくりを楽しみながら行っていただけるよう実施しています。

- （1）運動機能向上：柔軟体操、バランス体操、運動器具を使った筋力運動、
身体を使ったレクリエーション
- （2）認知機能向上：複合運動や指体操などの脳トレーニング・図形・パズル・折り紙等

開催状況

- （1）参加延べ人数及び開催地区数の推移は次のとおりです。



開催地区については、介護予防サポーターと連携した活動体制が整いました。なお、伏木氏地区については平成27年4月よりサロン活動に移行し、地域での活動を行っています。

(2) 開催中止地区及び参加者の減少理由

仕事や家業に就かれたり、介護保険サービスを利用されるようになったことで、参加できなくなった方が多く見られました。また、8月の台風15号接近と1月の大雪等の影響で開催ができない地区もありました。

【平成27年度中に開催を中止した地区】

- ①橋本地区（湯浦） 平成27年5月より開催中止
- ②市居原地区（吉尾） 平成27年6月より開催中止
- ③松生地区（佐敷） 平成27年6月より開催中止

上記3地区には、区長等を通じ、介護予防の必要性や継続していくことの重要性について説明会を実施して訴えて参りましたが、地区の意向により開催を中止することとなりました。

【参加者の減少の内訳】

仕事及び家業	46名
介護保険サービスへ移行	19名
死去	10名
入院及び自宅療養	9名
家族の介護等	4名
転居	2名
会場に行けなくなった	1名
その他	7名
合 計	98名

活動風景



【たっしゅか体操】 【運動機能向上・レクリエーション】【認知機能向上・パズル】
体操やレクリエーションなどを交えながら、自宅での運動に繋がるよう開催しました。

課題と今後の展望

高齢化が進むにつれ参加者の減少や開催を中止したりする地区も出てきました。こういった状況を打開するため、地域福祉座談会や老人会の会合等へ積極的に参加し、早期からの介護予防を訴えて参加を促して参ります。

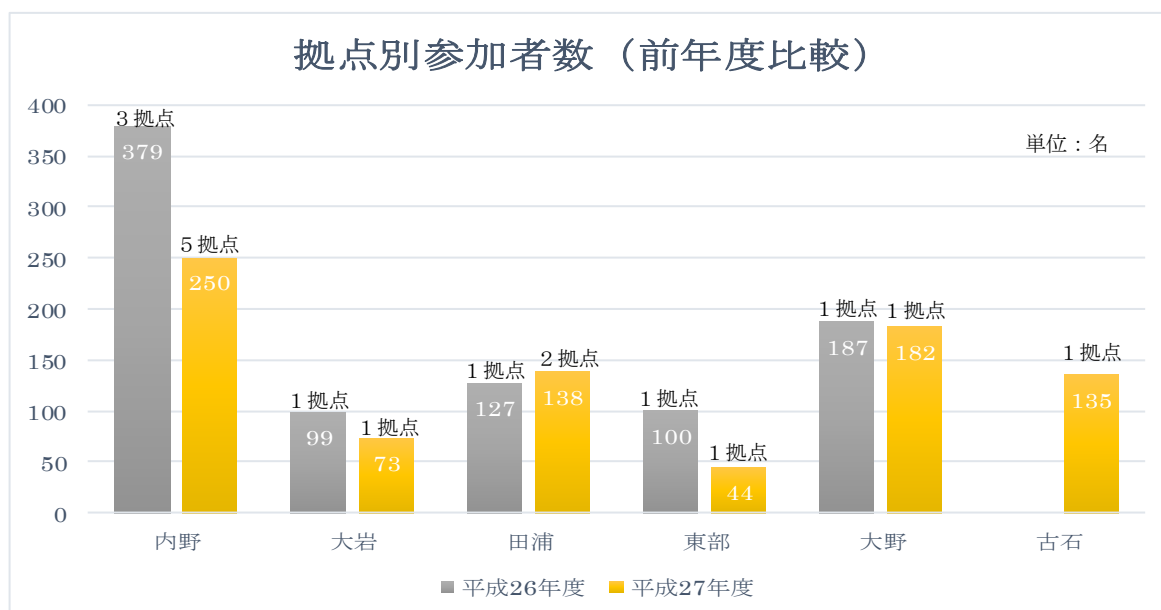
また、新しい総合事業の中の住民主体のサロン活動を展開するために地域福祉係と連携をとりながら、仕組み作り等を検討して参ります。平成28年度は花西・花東・岩屋川内地区の代表者等と協議し、サロン活動への移行を目指します。

2. 拠点事業

事業目的

拠点事業は公民館等で開催している転倒骨折予防事業とは違い、短時間でしっかりと運動し、運動機能や認知機能の維持・改善を目的に開催しております。平成27年度は内野福祉センターを会場として佐敷東拠点（花北、諏訪、宮浦）と佐敷南拠点（花東、田川、八幡、桑原、寒気）を、田浦福祉センターを会場に田浦東拠点（田浦1～4、横居木）を、古石交流館みどりの里を会場に古石拠点（高岡南、古石北、古石南）を新たに開催しました。

拠点活動開催状況



※古石交流館みどりの里（古石拠点）は平成27年4月より活動開始。

※内野福祉センター（佐敷東拠点）は平成28年2月より活動開始。

※内野福祉センター（佐敷南拠点）は平成28年3月より活動開始。

※田浦福祉センター（田浦東拠点）は平成28年3月より活動開始。

古石交流館みどりの里においては、地域からの要望もあり平成27年4月より新規開催し、月11名以上の参加がありました。

内野福祉センターにおいては新たに2拠点を開催しましたが参加者数は減少しており、その傾向が宮崎・湯東・湯北拠点と大川内・豊岡拠点に目立ちます。また、東部保健福祉センターにおいても対象地区の中で参加する地区、参加しない地区と偏りが見られました。

活動内容

①運動機能向上

- ・ソフトバランスボールを使ったストレッチ
- ・ノルディックウォーキング（運動器具を使った歩行運動）
- ・いきいき100歳体操（錘を使用した筋力アップ体操）
- ・スクエアステップ（認知機能向上も含めた転倒予防運動）
- ・ロコリングやハンドグリップなどを使用した上半身強化運動
- ・ステップ台を使用した下半身強化運動

②認知機能向上

- ・認知機能向上のためのパズルや指体操
- ・2つ以上の動作を行う複合運動
- ・歌を交えた運動

③口腔機能向上（歯科衛生士と連携した口腔ケア教室）

④効果測定（体力測定）

活動風景



運動機能向上

【ノルディックウォーキング】



運動機能向上

【いきいき100歳体操】



認知機能向上

【パズル・プラント】



運動機能向上

【スクエアステップ】

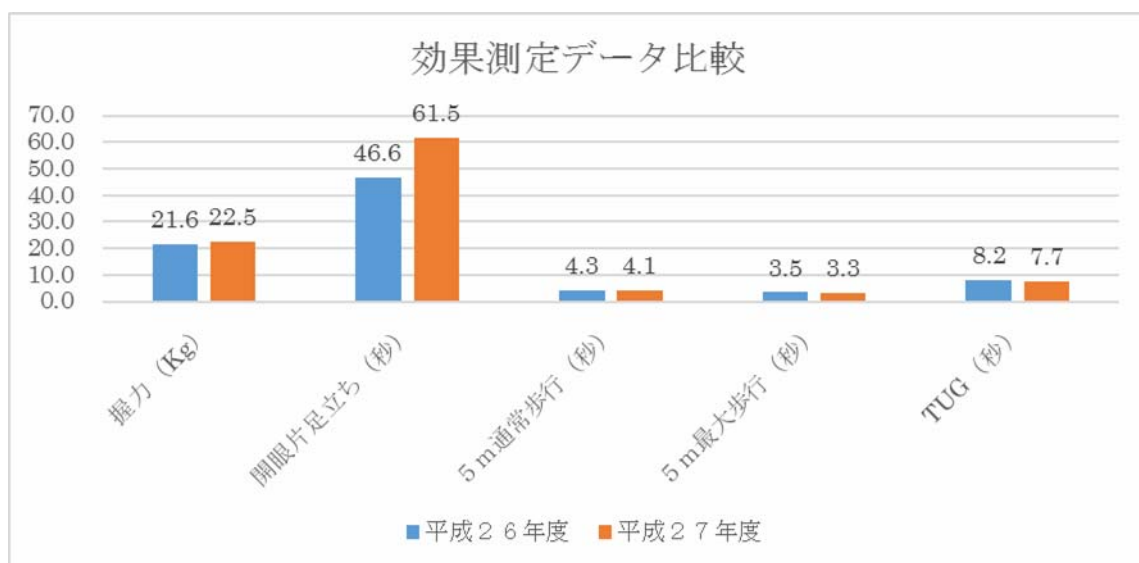
口腔機能向上

【口腔ケア教室】

効果測定

【開眼片足立ち】

効果測定データの比較



このグラフは平成26年度と平成27年度の効果測定データ比較です。

平成25年度から県内で統一された方法で効果測定を実施しております。また平成27年度は計測する専用機器を購入し、より正確なデータ測定を行いました。すべての項目において前年度と比較して維持または改善が見られます。特に開眼片足立ちについては15秒以上の改善がみられ、開催時に行う体操や筋力の維持・向上を目的とした運動等による成果が出ているものと思われます。

※握力・・・椅子に座った状態で握力を計測するもの

※開眼片足立ち・・・腰に手を当て、片足立ちで静止した時間を計測するもの

※5m通常歩行・・・スタート地点から通常歩行速度（普段通りの歩く早さ）で5m先の目印に到達するまでの時間を計測するもの

※5m最大歩行・・・スタート地点から最大歩行速度（早歩き）で5m先の目印に到達するまでの時間を計測するもの

※TUG・・・椅子に座って、合図と同時に3m先のコーンを回り、再度椅子に座るまでの時間を計測するもの

課題と今後の展望

短時間でしっかりと運動をすることを目的に開催している拠点事業としては、本来参加してほしい前期高齢者等の若い世代の参加者をどのように引き込むかが課題として浮き彫りになりました。

転倒骨折予防事業同様、地域の寄り合いや老人会の会合、地域福祉座談会等に参加し、チラシ等を使い早期からの介護予防の必要性について理解していただき、参加を促して参ります。

また、専門的な運動器具（ソフトバランスボール、ロコリング、ノルディックウォーキング）等を積極的に活用し、運動機能の維持・改善に努めて参ります。

拠点開催の数においても、町内を網羅できるよう開催地区の拡大を検討して参ります。

3. 介護予防サポーター育成事業

事業の目的

自身の介護予防のために知識を深め、地域での介護予防活動に取り込むことで、安心して暮らせる地域づくりを推進するため、平成22年度から介護予防サポーター養成講座を実施しております。

所定の養成講座を受講後は、介護予防サポーターとして登録され、公民館等での転倒骨折予防事業の開催支援や拠点事業での参加者への支援等を行います。

また、介護予防サポーターのスキルアップや活動内容の充実を目的に年数回の介護予防サポーターフォローアップ講座を開催しております。

養成講座の流れ

介護予防についての基礎知識や体操、レクリエーションの方法など、必要な内容を1日間の日程にまとめ、受講していただきました。平成27年度は2回、きずなの里で開催し講座の内容については次のとおりです。

介護予防サポーター養成講座の日程

- | | |
|-----|--|
| 第1部 | 開講式、介護予防の必要性、下肢筋力アップのストレッチ① |
| 第2部 | 転倒骨折予防について、下肢筋力アップのストレッチ② |
| 第3部 | 健康チェックの方法、健康（たっしやか）体操
リズム体操（あしきた健康体操） |
| 第4部 | レクリエーション、脳トレーニング、閉講式 |

養成講座風景



登録状況

現在、介護予防サポーターは6期生までの101名が養成講座を修了しており、年度ごとの

平成22年度(1期生)34名(内訳:湯浦16名、佐敷9名、田浦5名、大野4名)

平成23年度(2期生)17名(内訳:湯浦5名、佐敷6名、田浦5名、大野1名)

平成24年度(3期生)17名

(内訳:湯浦2名、佐敷2名、田浦4名、大野3名、吉尾6名)

平成25年度(4期生)11名(内訳:湯浦5名、佐敷2名、大野1名、吉尾3名)

平成26年度(5期生)14名(内訳:湯浦5名、佐敷5名、田浦3名、大野1名)

平成27年度(6期生)8名(内訳:佐敷4名、田浦4名)

登録者数については次のとおりです。

また、介護予防サポーターとして毎月各公民館等に派遣しておりますが、平成27年度の延べ活動人数につきましては次のとおりです。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
110名	114名	156名	125名	126名	127名	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
137名	172名	129名	133名	148名	142名	1,619名

なお、平成27年度はサポーターによる活動の充実を図ることを目的に介護予防サポーターフォローアップ研修会(勉強会)として理学療法士等による講習会や御船町への視察研修等を4回開催しました。

介護予防サポーターによる活動風景



課題と今後の展望

定期的に介護予防サポーター養成講座を開催しておりますが、特に大野・吉尾地区においては依然として介護予防サポーターの受講生が少なく、他地区の介護予防サポーターを配置して対応している状態です。

このような問題を解決するためには、その地域での資源(人材)の発掘を進めるとともに、地域福祉活動推進員や当協議会内で養成しているそれぞれのボランティア等とも協力しあえる体制づくりを進めていく必要があります。更に、福祉関係職種等に従事されていた方などに協力依頼を行っていきたいと思います。

また、これまで同様介護予防サポーターフォローアップ研修会を定期的に開催し、サポーターの質の向上も図って参ります。

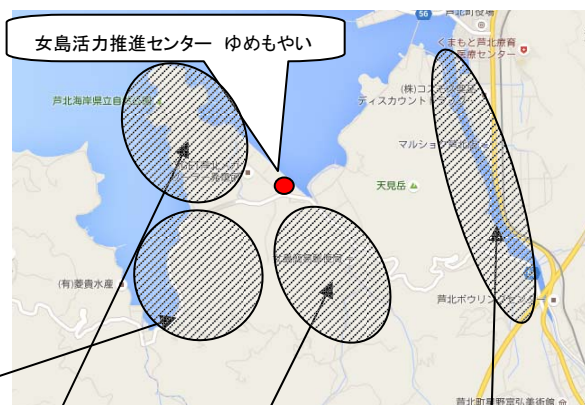
10 水俣病発生地域高齢者等在宅支援事業

事業目的

水俣病発生被害者地域における高齢の水俣病被害者等が地域の中で安心して在宅生活を営むことができるよう、日常生活の質の向上及び社会参加の促進に資する取り組みを行います。

対象地区

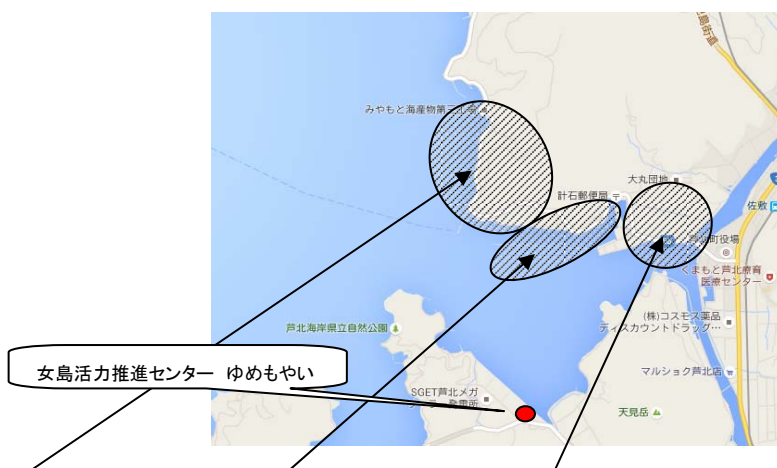
① 女島拠点（対象行政区：福浦、沖、女島西、平生）



福浦地区			沖地区			女島西地区			平生地区			合計		
①	人口	123	①	人口	184	①	人口	229	①	人口	275	①	人口	811
②	世帯数	47	②	世帯数	59	②	世帯数	78	②	世帯数	100	②	世帯数	284
③	65歳以上	53	③	65歳以上	70	③	65歳以上	83	③	65歳以上	114	③	65歳以上	320
④	高齢化率	43.1%	④	高齢化率	38.0%	④	高齢化率	36.2%	④	高齢化率	41.5%	④	高齢化率	39.5%

平成 27 年 4 月 1 日現在

② 佐敷西拠点（対象行政区：鶴木山、計石西、計石東）



鶴木山地区			計石西地区			計石東地区			合計		
①	人口	209	①	人口	352	①	人口	449	①	人口	1,010
②	世帯数	80	②	世帯数	137	②	世帯数	212	②	世帯数	429
③	65歳以上	84	③	65歳以上	154	③	65歳以上	217	③	65歳以上	455
④	高齢化率	40.2%	④	高齢化率	43.8%	④	高齢化率	48.3%	④	高齢化率	45.0%

平成 27 年 4 月 1 日現在

拠点活動内容（女島拠点：第1～第4木曜日開催）

（佐敷西拠点：第1・3火曜日開催）

- (1) 運動機能向上：柔軟運動、運動器具を使った体操・筋力運動
いきいき100歳体操等
- (2) 認知機能向上：複合運動や指体操などの脳トレーニング・図形・パズル等
- (3) 口腔機能向上：管理栄養士と連携した食育教室
歯科衛生士と連携した口腔教室
- (4) 自宅での運動：ホームプログラム（自宅でチャレンジ）による運動
- (5) 効果測定（年3回実施）
 1. 個々に対して評価
 2. 海岸地域と山間地域のデータ比較
- (6) 交流会
 1. 地域間交流（グラウンドゴルフ）平成27年5月28日、10月22日実施
 2. 世代間交流（子ども達との交流）平成27年7月23日実施
- (7) ゆめもやい開催状況

①女島拠点（月4回／第1～4木曜日開催）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催回数	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	47
参加者数	47	69	47	58	28	33	58	36	35	33	40	36	520

※8月：お盆のため1回中止

②佐敷西拠点（月2回／第1・3火曜日開催）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催回数	/	/	/	/	/	/	2	2	2	2	2	2	12
参加者数	/	/	/	/	/	/	34	39	48	38	33	29	221

※平成27年10月より事業開始

活動風景



【効果測定】

【いきいき100歳体操】



【ノルディックウォーキング】



【認知機能向上・パズル】



【地域間交流・グラウンドゴルフ】



【食育健康講話】

効果測定データ

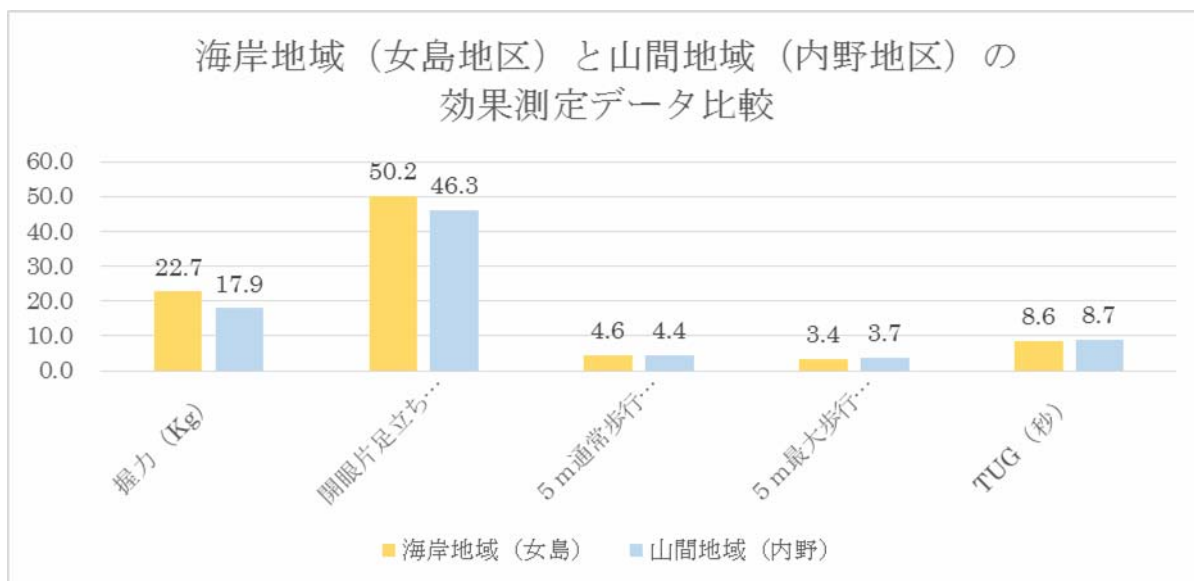
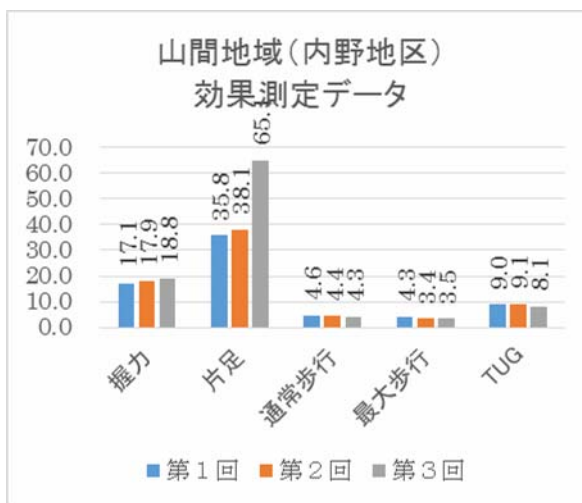
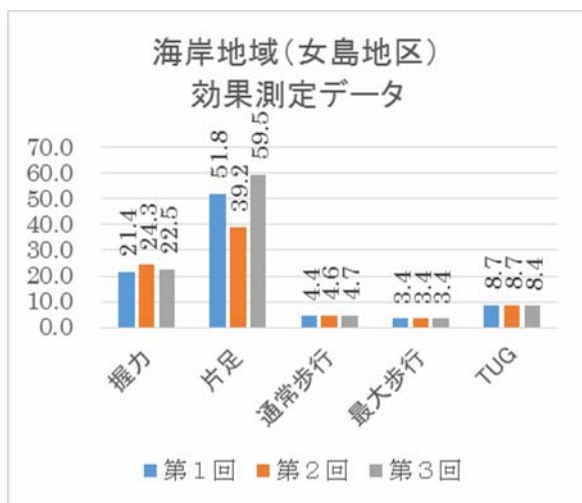
平成27年度 評価結果一覧表		実施場所	(例)
氏名	芦北 町子	性別	女
生年月日			
	第1回評価 平成27年5月7日	第2回評価 平成27年9月3日	第3回評価 平成27年12月17日
年齢	80 歳	80 歳	80 歳
身長	143.0 cm	143.7 cm	143.1 cm
体重	47.0 kg	46.6 kg	47.2 kg
BMI	23.0	22.6	23.0
	測定値	測定値	測定値
握力	18.1 kg	19.1 kg	18.8 kg
開眼片足立ち時間	60.6 秒	58.9 秒	84.9 秒
5m通常歩行時間	3.2 秒	3.5 秒	3.2 秒
5m最大歩行時間	2.3 秒	2.3 秒	2.5 秒
Timed Up&Go	5.2 秒	5.5 秒	5.7 秒
両足立位間距離	- cm	- cm	- cm
踵足趾位保持時間	- 秒	- 秒	- 秒

平成27年度 効果測定結果				
項目	第1回評価 (青)	第2回評価 (緑)	第3回評価 (赤)	熊本県平均 (平成26年度) (黄)
握力	18.1	19.1	18.8	18.8
開眼片足立ち時間	60.6	58.9	84.9	84.9
5m通常歩行時間	3.2	3.5	3.2	3.2
5m最大歩行時間	2.3	2.3	2.5	2.5
Timed Up&Go	5.2	5.5	5.7	5.7

左の表は効果測定の個別評価結果一覧表です。平成27年度に実施した3回分のデータを1枚の用紙にまとめ、個々の測定項目がどのように変化しているかを比較しています。

参加者には芦北地域リハビリテーション広域支援センターの理学療法士等と連携しながら、スタッフが個別に説明を行い、それぞれに必要な運動等のアドバイスを行いました。





このグラフは海岸地域(女島地区)と山間地域(内野地区)の効果測定データです。

平成26年度に引き続き、平成27年度も年3回の効果測定を実施しました。すべての測定項目で年間通して大きな変化はなく、運動機能の維持ができています。握力と開眼片足立ちについては、山間地域と比較すると握力で4.8Kg、開眼片足立ちで3.9秒の差がありました。これは継続的(4回/月)に行う体操・器具を使った運動や自宅での運動(ホームプログラム)による成果が出ているものと思われます。

※握力・・・椅子に座った状態で握力を計測するもの

※開眼片足立ち・・・腰に手を当て、片足立ちで静止した時間を計測するもの

※5m通常歩行・・・スタート地点から通常歩行速度(普段通りの歩く早さ)で5m先の目印に到達するまでの時間を計測するもの

※5m最大歩行・・・スタート地点から最大歩行速度(早歩き)で5m先の目印に到達するまでの時間を計測するもの

※TUG (Timed Up&Go)・・・椅子に座って、合図と同時に3m先のコーンを回り、再度椅子に座るまでの時間を計測するもの

訪問指導

- (1) 日常生活の実態把握を行い、自宅での運動指導や相談業務を行いました。
- (2) ホームプログラム『自宅でチャレンジ』を対象地区の65歳以上の方へ配布し、訪問指導、説明を行いました。

活動風景



【自宅でチャレンジ・メニュー】

【自宅でチャレンジ・説明】

訪問件数

地区名	対象者数（名）	配布・訪問期間
女島地区	321	初回 平成27年4月～約3週間
		2回 平成27年8月～約3週間
		3回 平成27年12月～約3週間
佐敷西地区	305	初回 平成27年10月～11月末
		2回 平成28年1月～約3週間

*佐敷西地区の初回は、不在されていたとしても再度訪問し、すべての対象者に面会して、状態把握と運動指導を行いました。

課題と今後の展望

対象地区の65歳以上の方に実態把握を行った結果、「まだ仕事で忙しく参加出来ない、まだお世話になる年齢ではない。」などの声が多く、介護予防に対する認識が薄い現状でした。そこで、早い段階からの介護予防の必要性について、チラシ等を通じて訴え、年3回のホームプログラム『自宅でチャレンジ』を対象者に配布し実施指導を行って参ります。

見守り等が必要な方に対しては関係機関と連携し継続して支援を行って参ります。

田浦方面（芦北町海岸地域）への地域の拡大も検討して参ります。

Ⅲ-2 災害時支援体制の整備

①災害ボランティアセンター機能の充実（総務課：地域福祉係）

大規模又は甚大な災害が発生した場合に本会が設置する「災害ボランティアセンター」の目的・役割の地域住民への理解と、迅速な開設や円滑な運営を図るため設置訓練を実施しました。

また、訓練を通じ「3市町社会福祉協議会災害時相互応援協定」に基づく、水俣市、津奈木町、芦北町社協の連携の強化を図りました。

(1) 芦北町災害ボランティアセンター設置訓練（共同募金配分金事業）

活動内容	実施日				内容	参加者
	年	月	日	曜		
センター設置訓練	28	2	28	土	●災害ボランティア炊き出し訓練 衝撃など強い素材を使用した炊飯袋を使用し訓練した。 「ハイゼックス炊飯方法」	・芦北町ボランティア連絡協議会 15名



【災害ボランティア炊き出し訓練】

(2) 市町村災害ボランティアセンター運営強化推進会議

活動内容	実施日				内容	派遣職員
	年	月	日	曜		
①運営強化推進委員	27	7	14	火	市町村災害ボランティアセンターの開設・運営のあり方検討	1名
	28	2	12	金		

② 芦北町災害時避難行動要支援者避難支援計画への協力

災害対策基本法の一部改正に伴い国が示した「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」及び芦北町地域防災計画に基づき、風水害や地震等の自然災害に備え、避難行動要支援者の避難支援を迅速かつ的確に実施するため、平常時から避難行動要支援者に関する情報の把握を行い、防災情報の伝達手段・伝達体制を整備し、避難誘導等の支援体制を整備し、避難誘導等の支援体制を確立する。

開催日				開催場所	主な協議内容
年	月	日	曜		
28	3	16	水	芦北町役場	・避難行動要支援者支援体制の取組について ・避難行動要支援者の登録状況について ・避難行動要支援者支援制度の周知及び個別計画の作成について

IV 地域福祉の基盤づくり

IV-1 社協機能・体制の強化

① 本所運営事業（総務課：総務係）

(1) 理事会・評議員会の開催及び監査の実施

平成27年度も適正な法人運営を図るため、理事会・評議員会を開催し、事業運営（経営）に関する審議を行いました。

また、業務執行状況及び財産の状況について監事による監査を実施するとともに、監査機能の専門性の充実と住民の信頼を高めるため、税理士事務所に委託し外部監査を実施しました。

①理事会

開催	開催日				出席者		提出議案							専決処分報告	
	年	月	日	曜	理事(書面)	監事	事業計画	当初予算	補正予算	事業報告	決算報告	規程報告	評議員選		人事案件
第1回	27	4	1	水	8名(2名)	0名								2件	
第2回	27	5	26	火	9名(1名)	1名			1件	1件	4件		1件		1件
第3回	27	12	22	火	9名(0名)	2名		2件							2件
第4回	28	3	22	火	9名(1名)	2名	1件	2件	2件			5件			1件

②評議員会

開催	開催日				出席者		提出議案						専決処分報告	
	年	月	日	曜	評議員	監事	事業計画	当初予算	補正予算	事業報告	決算報告	規程関係		役員選任
第1回	27	5	27	水	19名	1名			1件	1件	4件			
第2回	27	12	25	金	20名				2件					
第3回	27	3	25	金	16名		1件	2件	2件			5件		

③監事による監査

決算監査	期日	平成27年 5月14日
	出席者	監事2名(事務局:4名)
監査対象年度：平成26年度業務執行の状況及び決算監査		
監査事項：①業務執行状況(事業報告書)		
②収支決算関係		
<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支計算書、事業活動収支計算書 ・財務諸表(各種台帳等) ・会計伝票(収入伺い、支出負担行為伺い兼支出命令書) ・預貯金通帳、定期証書等 		
指摘事項		
なし		

④外部(税理士事務所)委託監査

月次、決算監査	期日	月次監査：月1回 決算監査：平成27年5月7・12日
	事業所	宍倉税理士事務所
①法人の経営体質強化のために有効な支援		
②適正な収支、財務、利益及び資金計画の立案のための経営管理資料の提供		
③経営助言等		

(2) 財政基盤の強化

社会福祉協議会の財政基盤を強化するため、地域住民、行政及び関係機関・団体への社

協活動の理解を深め、地域福祉財源の確保に努めました。

また、新規事業に取り組み安定した財源の確保にも努めました。

(3) 職員の資質の向上

職員の一人ひとりの能力の向上のための研修と上級資格取得への意欲向上へ繋がる勤務条件等の整備を行いました。

また、地域住民へ視点を置き、本所、支所、部門間の連携と情報の共有等を行い組織内の連携強化に努めました。

■職員勤務条件の改善（給与等の見直し）

正規職員・・・給料表の改定と引き続き給与の見直しの実施（3ヶ年計画の2年目）

更に諸手当（通勤手当）の一部改定、介護職員処遇改善手当の見直し

嘱託職員・・・諸手当（通勤手当）の一部改定、介護職員処遇改善手当の見直し

臨時職員・・・介護職員処遇改善手当の見直し

登録職員・・・介護職員処遇改善手当の見直し

■自主勉強会の実施と各種研修会への参加

研修会等	内 容	平成26年度	平成27年度
職員自主勉強会	①法令及び制度関係	6名	2名
	②会計及び財務関係	0名	0名
	③安全衛生関係	2名	1名
	④接遇関係	1名	1名
外部関係等研修会	⑤総務・会計・庶務関係	27名	15名
	⑥地域福祉関係	41名	34名
	⑦サービス事業(所)関係	24名	20名
	⑧介護予防、ケアマネジメント等	32名	27名
情報及び連絡会議	⑨課長会	52回	50回
	⑩課長・責任者会議	11回	10回
	⑪職員全体会	11回	11回

(4) 安全衛生委員会の開催

安全衛生法の第19条の規定に基づき、職員の労働安全及び衛生に関する事項を調査審議するため設置し、各月ごと安全衛生委員会を開催しました。

開催	開催日				委員等出席者		主な協議内容
	年	月	日	曜	産業医	委員 (事務局)	
第1回	27	4	14	火	1名	6名 (1名)	・健康診断について メタボリックシンドロームについて講義 (職員参加者32名)
第2回	27	5	18	月	1名	6名 (1名)	・空調設備掃除と温度管理について ・世界禁煙週間について
第3回	27	6	22	月	1名	6名 (1名)	・熱中症予防について

第4回	27	7	27	月	1名	6名 (1名)	・食中毒注意喚起について
第5回	27	8	24	月	1名	5名 (1名)	・第1回消防訓練について
第6回	27	9	29	火	1名	5名 (1名)	・消防訓練の結果について ・全国労働衛生週間について
第7回	27	10	26	月	1名	6名 (1名)	・インフルエンザ対策(予防接種)について ・空調設備清掃について
第8回	27	11	30	月	1名	6名 (1名)	・ストレスチェック制度の方向性について ・食中毒予防(ノロウイルス)について
第9回	27	12	28	月	1名	6名 (1名)	・業務中や私生活にける自動車等の運転について
第10回	28	2	29	月	1名	6名 (1名)	・定期健康診断結果の報告について ・第2回消防訓練について
第11回	28	3	23	水	0名	6名 (1名)	・定期健康診断の再検査が必要な職員の受診の意向について ・第2回消防訓練の結果報告 ・時間外労働・休日労働に関する協定届(36協定)について ・年間報告及び計画について

IV-2 広報・啓発活動の推進

広報紙・ホームページの充実

「広報きずな」の発行やホームページを通じて活動のPRを行い、社協の理解者・支援者の拡大を図りました。

広報媒体	実施日				内容
	年	月	日	曜	
①ホームページ (新着情報等随時更新)	27	5	1	金	・健康教室開催について ・介護予防サポーター養成講座開催について
	27	5	7	木	・社協一般会員募集及助成事業募集について
	27	5	20	水	・介護支援専門員実務研修受講試験について
	27	6	8	月	・権利擁護相談会の実施について ・認知症サポーター養成講座について ・口永部島噴火災害義援金の受付について
	27	6	10	水	・民生・児童委員協議会の活動紹介について
	27	6	15	月	・賛助・特別会員の募集について
	27	7	1	水	・健康教室の開催について
	27	7	24	金	・ふれあい・いきいきサロンの活動紹介
	27	9	2	水	・介護予防サポーター養成講座開催について
	27	9	24	木	・台風18号等による大雨における災害義援金
	27	10	1	木	・健康教室の開催について

	実施日				内 容
	年	月	日	曜	
報 媒 体	27	10	14	水	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告及び決算報告について ・平成27年度事業計画及び予算について
	27	11	5	木	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教室の開催について
	28	1	5	火	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進セミナーの開催について
	28	1	6	水	<ul style="list-style-type: none"> ・「イキイキ男性のための健康教室」の開催について ・権利擁護相談会の実施について
②広報「きずな」 (年4回発行)	27	7	1	水	(夏号) 7, 400部作成 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度事業計画及び予算概要 ・平成26年度事業報告及び決算概要 ・小地域福祉推進事業(地区活動紹介他) ・共同募金配分金事業(介護者の集い他) ・安心生活サポート事業の紹介 ・香典返し及び一般寄附お礼 ・事業紹介(デイサービス事業)
	27	9	30	水	(秋号) 7, 400部作成 <ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金運動への協力をお願い ・小地域福祉推進事業(地区活動紹介他) ・歩いてみましょう健康教室の紹介 ・芦北町民生委員児童委員協議会活動紹介 ・事業紹介(デイサービス事業) ・香典返し及び一般寄附お礼 ・「もやいまつり」開催のお知らせ
	28	1	5	火	(冬号) 7, 400部作成 <ul style="list-style-type: none"> ・「もやいまつり」の開催 ・共同募金配分金事業(福祉スポーツ大会他) ・事業紹介(デイサービス事業) ・ホームヘルパー募集 ・香典返し及び一般寄附お礼 ・地域福祉推進セミナー開催のお知らせ ・ふれあい交流祭り開催のお知らせ
	28	3	31	木	(春号) 7, 400部作成 <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア炊き出し訓練開催 ・赤い羽根共同募金運動へのお礼 ・共同募金配分金事業(介護者のつどい他) ・事業紹介(デイサービス事業) ・きずなの里ふれあい交流まつり ・香典返し及び一般寄附お礼 ・地域福祉推進セミナー開催のお知らせ ・シルバー人材センター会員募集 ・もやい直し事業「生きがいつくり受講生」募集 ・子どもふれあい教室

<p>③ふれあい・いきいき サロン新聞 (特別発行)</p>	<p>28</p>	<p>3</p>	<p>31</p>	<p>木</p>	<p>(ふれあい・いきいきサロン新聞) 100部作成 ・市居原・市野瀬・伏木氏・海浦・諏訪・古道 ・計石・湯北地区</p>
--	-----------	----------	-----------	----------	---